



GUIDE Plus+, SHOWVIEW, VIDEO Plus+, G-LINKは、Gemstar-TV Guide International, Inc. ないしその系列企業の (1) 登録商標または商標であり、(2) 同社から認可を得て製造され、(3) 同社が国際的特許権を保有する特許、または出願中の特許です。

GEMSTAR-TV GUIDE INTERNATIONAL, INC. ないしその系列企業は、GUIDE PLUS+システムによって供給される番組スケジュール情報の精度に関し、いかなる責任も負いません。GEMSTAR-TV GUIDE INTERNATIONAL, INC. ないしその系列企業は、GUIDE PLUS+システムに関連する情報、装置、あるいは情報を使用したことによって発生した、いかなる金銭的損失および営業上の損失、あるいは特殊な状況を含む間接的ないし結果的に発生したあらゆる損害に対し、いかなる場合においても責任を負いません。

SHOWVIEW™

SHOWVIEWは、Gemstar Development Corporationの登録商標です。SHOWVIEWシステムは、Gemstar Development Corporationから認可を得て製造されています。

VIDEO Plus+™

VIDEO Plus+ および PlusCode は、Gemstar Development Corporationの登録商標です。VIDEO Plus+システムは、Gemstar Development Corporationから認可を得て製造されています。

G-CODE™

G-Codeは、Gemstar Development Corporationの登録商標です。G-Codeシステムは、Gemstar Development Corporationから認可を得て製造されています。

警告: 火災や感電を避けるため、この製品を雨の中にさらしたり、極端に湿度の高い場所で使用することは絶対にやめてください。水が垂れ落ちてくる可能性がある場所での使用や、花瓶など水を含んだ容器類をこの製品の上に置くことも、絶対にやめてください。

この機器と電源を完全に切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続する時は、抜き差しがしやすい場所にあるコンセントを選んでください。



正三角形の中に稲妻が入った左のマークは、この製品の内部で、感電の危険をもつ絶縁されていない高電圧が、発生する可能性を示しています。



正三角形の中に感嘆符が入った左のマークは、この製品の取扱説明書の中に、操作と保守に関する重要な情報が含まれていることを示します。

DVD 2のご紹介とBeo4の使い方, 4

DVD 2に内蔵されたハードディスクレコーダーとDVDプレーヤー、Beo4リモコンの基本的な使い方に加え、テレビスクリーンに画面メニューを表示させる方法について説明します。

日常的な操作, 11

DVD ディスクの再生、録画と再生プログラム、ハードディスクの内容確認、タイマー録画リストの確認のしかたを説明します。またこの章には、放送中の番組の一時停止とリプレイの方法も書かれています。

二次的な操作, 31

チャイルドロックのかけ方、映像の分割、各機能設定の方法など二次的な操作について説明します。またこの章には、DVD ディスクの編集方法についても書かれています。

設置の方法、および接続, 45

製品を設置し、接続していく方法について説明します。またこの章には、接続パネルの概要と、さまざまな接続方法についても書かれています。

お手入れ, 57

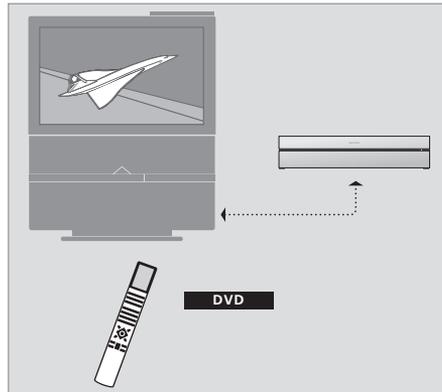
索引, 58

DVD 2のご紹介

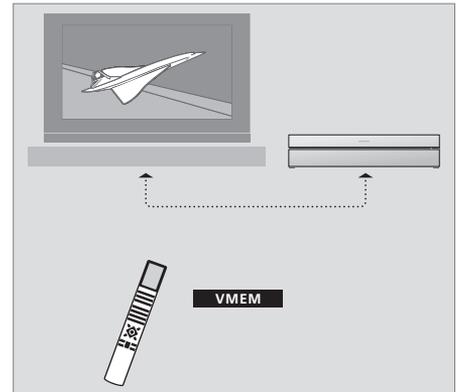
DVD 2には、DVDプレーヤーとハードディスクレコーダーが内蔵されています。DVDプレーヤーと大容量ハードディスクが一体化されていることで、ハードディスクに映像を保存したり、保存した映像をバックアップなどの目的で録画可能DVDディスクにコピーすることができます。ハードディスクには、放送中の番組を一時停止させ、しばらくたったあと、停止させたところから再生するためのリプレイバッファ機能も備えられています。

DVD 2には、GUIDE Plus+システムが内蔵されています。このシステムは、お住まいになっている地域で受信可能な全チャンネルの番組ガイドを、無料でリスト表示します。またGUIDE Plus+システムは、好きなテレビ番組のタイマー録画にも使用できます。ただし、GUIDE Plus+システムに対応していないチャンネルもあります。

一部の国は、番組ガイドのリスト表示に対応していないので、ご注意ください。



DVD 2を“DVD”として登録した場合は、DVDボタンを押せばスイッチが入ります。DVDディスクがセットされていれば、自動的にそのディスクの再生が始まります。



DVD 2を“VMEM”として登録した場合は、VMEMボタンを押せばスイッチが入ります。同時に、ハードディスクの内容メニューがテレビ画面上に表示されます。

DVDプレーヤーとハードディスクレコーダー

主にどの機能を使うかによって、DVD 2を、3つの異なった名称で登録することができます。どの名称で登録しても、DVD 2の全機能が操作できます。

主な使用目的がDVDディスクの再生であれば、テレビ画面のCONNECTIONSメニューから、DVD 2を“DVD”として登録します。DVDディスクの再生方法についての詳細は、12ページの「ディスクの再生」をご覧ください。

主な使用目的がハードディスクへの録画であれば、テレビ画面のCONNECTIONSメニューから、このDVD 2を“VMEM”として登録します*。すでに別のDVDプレーヤーが接続されているシステムで使用する場合も、“VMEM”で登録します。ただしこの場合、Beo 4リモコンの“DVD”ボタンを押すと、反応するのはDVD 2ではなく、先に接続されていたほうのDVDプレーヤーとなります。ハードディスクへの録画についての詳細は、20ページの「今すぐに録画する」と16ページの「タイマー録画」をご覧ください。

主な使用目的が、画面に映っている番組をすぐに録画することであれば、テレビ画面のCONNECTIONSメニューから、このDVD 2を“V.AUX2”として登録します。V.AUX2に登録されたDVD 2は、スイッチを入れると、自動的にチューナーモードとなります。詳しくは20ページの「今すぐに録画する」をご覧ください。

CONNECTIONSメニューへの登録名によって、DVD 2のスイッチを入れるBeo4のボタンが、DVDボタン、VMEMボタン、またはV.AUX2ボタンのいずれかに決定されます。

*注意！一部のBeo4リモコンでは、DTVボタンがSAT、VMEMボタンがVTAPEと表示されています。

テレビ番組の録画

DVD 2は、地上波、衛星(DTV*)、または端末機器経由で放送される番組を、ハードディスクに録音することができます。

録画した映像を、いつまでも残しておくか、一時的に保管するかが選べます。即時録画またはタイマー録画された映像は、HARD DISC CONTENTに収納され、放送中に一時停止とリプレイを行なった映像は、6時間分の容量をもつプレイバッファに一時保管されます。バッファに保管された映像は、HARD DISC CONTENTに移動させることができます。また、ハードディスクの映像を、DVDディスクに録画することも可能です。

DVD 2を使えば、もうビデオテープの山を築く必要はありません。ハードディスクに録画したすべての映像を、いつでもテレビ画面上にリスト表示させられるからです。

録画した映像が、ハードディスクから消去されるのを防ぐためには、自動消去機能から除外する必要があります。詳しくは28ページの「録画した映像を保護する」をご覧ください。



本体操作パネル

> Load ボタンを押すと、ディスクトレイが開閉する

ディスクをセットするには...

上部パネルを軽く押すと、本体操作パネルが現われます。

- > 操作パネルのLoad ボタンを押す。ディスクトレイが手前にスライドして出てくる
- > トレイにディスクをのせる

スタンバイ状態からスイッチを入られたDVD 2が、完全に起動を終えるには、約40秒かかります。

本体ディスプレイ...

本体ディスプレイには、DVD ディスクや録画の経過時間、オーディオCDの現在のトラック番号が表示されます。DVD チャプター表示に切り替えると、適切なチャプター番号が数秒間表示されます。

インジケータライト...

本体正面の右側には、動作状況を示すインジケータライトがあります。

オレンジ色...DVD 2が録画中です。録画の指示を受け取ると、オレンジ色のライトが数秒間点滅したあと、点灯します。点滅中、DVD 2は録画の指示に合致する信号をサーチしているため、サーチが終わるまで、チャンネルを変えることはできません。もし変えてしまうと、録画作業が中止されます。

緑色...DVD 2はオンになっていますが、録画は行なっていません。

赤...DVD 2はスタンバイ状態にあります。

DVD 2のご紹介とBeo4の使い方

Beo4の使い方

1台のBeo4リモコンで、このテレビの全機能が操作できます。使用中の機能名は、Beo4のディスプレイまたはテレビ画面上に表示されます。

DVD 2のスイッチを入れる。一部のBeo4では、VMEM ボタンはVTAPEと表示されている

メニューの各項目を選ぶ。映像の再生中は、次のチャプターまたは1つ前のチャプターに飛ぶ。再生の一時停止中は、前後のフレーム単位に飛ぶ

画面メニューにデータを入力する、または再生速度を変える。GOと組み合わせれば、再生の早送り、早戻しができる

再生モードに入る。指示や設定の承認、保存を行なう

Beo4のディスプレイに二次的な機能を表示させる (たとえばV.AUX2など)

現在の映像を一時停止する。録画中の映像が一時停止状態になり、もう一回押すと完全に終了する

DVD
VMEM



GO

LIST

STOP



DVD

選んだ映像源の名前は、Beo4のディスプレイに表示される

RECORD

テレビなど、選んだ映像源の手動録画が始まる

0-9

画面メニューに数値を入力する。チャンネルなどの番号を指定する

MENU

詳細メニューを呼び出す



選んだ映像源に応じて、各カラーボタンが各種の機能を操作可能にする。GOと組み合わせれば、別の画面メニューに移る

EXIT

画面メニューを終了する*



音量を上下する。中央の部分を押すと



消音される



DVD 2とテレビをスタンバイ状態にする

*注意！ EDITメニューを終了する場合は、GOを押してから3を押す必要があります。

このガイドで使われている記号表記

Beo4 リモコン本体上のボタンは

TV
LIST
▲
▼

Beo4 のディスプレイ上の表示は

FORMAT

画面メニューを使う

画面メニューを使うと、再生や録画に関する機能呼び出ししたり、設定を変更することができます。

DVD 2のスイッチが入っている時に...

GOを押したあと0を押して、DVDメインメニューを呼び出す

GO
0

メニュー項目を上下に移動する。またはメニューにデータを入力する

▲
▼

別のメニュー項目を呼び出す

◀ ▶

メニューにデータを入力する

0-9

設定した各項目を保存する

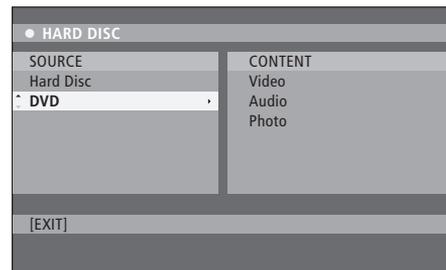
GO
GO

情報バーのなかの各項目を選ぶ

■ ■
■ ■

DVDメニューを終了する。それまで使っていた音源や映像源に戻る

EXIT



DVDメインメニュー

詳細メニュー

Beo4のどのボタンが、特定の機能に対応しているか確かめるには、テレビ画面上に詳細メニューを呼び出します。

MENUを押してテレビメニューを表示させたあと、GOを押して詳細メニューを呼び出す

MENU
GO

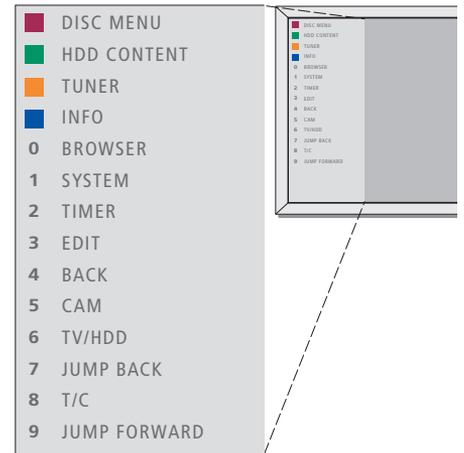
使いたい機能の番号を押す。あるいは...

1 - 9

...使いたい機能が割り振られているカラーボタンを押す



ボタンと機能の関係を覚えてしまえば、詳細メニューを呼び出さなくても操作は可能になります。その場合は、まずGOを押し、そのあと、使いたい機能に対応した番号ボタン、またはカラーボタンを押してください。



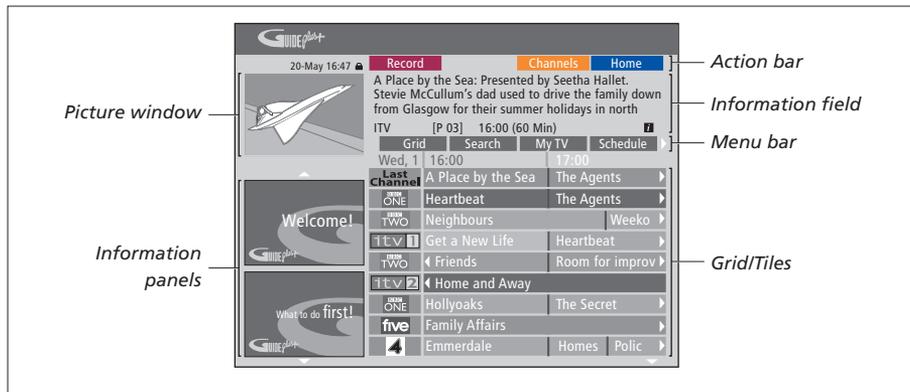
詳細メニューの右側にはBeo4のボタン名が、左側には、各ボタンで操作する機能名が表示されます。このユーザーガイドとは別に、クイックガイドが同梱されていますので、リンクルームなどで詳細メニューを確認できない場合は、クイックガイドの方を参照してください。

注意！ 0を押してBROWSERを選ぶと、ハードディスクメニューが呼び出されます。

GUIDE Plus+ システム

GUIDE Plus+ の設定を終え、データのダウンロードが完了すると、GUIDE Plus+ システムの各種機能が使えるようになります。

- > GO を数秒間押し続ける
- > ▲▼◀▶ または ▶▶ ボタンを使って項目を選び、その後は画面上の指示に従う



GUIDE Plus+システムは、画面上で6つの部分に分けられています。

- Information Panels … GUIDE Plus+システムの説明や、ソフトウェアの広告などが表示されます。
- Picture Window … 現在受信中のテレビ番組が表示されます。その番組を見ながらも、GUIDE Plus+システムは操作できます。
- Action Bar … 操作可能な機能が表示されます。各操作ボタンは、対応しているBeo4のカラーボタンでオンになります。
- Information Field … 短い番組案内、またはヘルプメニューが表示されます。
- Menu Bar … GUIDE Plus+メニューと、現在選んでいる番組などが表示されます。
- Grid/Tiles … 1週間先までの、各チャンネルの番組時刻表がリスト表示されます。

表示されないチャンネルがあれば、EDITOR画面でチェックしたのち、チャンネルを変更することができます。GUIDE Plus+メニューが表示されている時に、▲を押してMenu Barに入り、▶▶を繰り返し押ししてEDITORを強調表示させます。▼を押すと、EDITORメニューに入ります。

この章では、DVD ディスクの再生方法、映像の録画と再生、録画した映像の編集など、毎日使う基本的な操作を説明します。またDVD 2のハードディスクレコーダーは、放送中のテレビ番組を一時停止させることもできます。

ディスクの再生, 12

- ディスクの再生中に, 12
- DVD 画面メニューを使う, 13
- ツールバーを使う, 14

映像の録画, 16

- タイマー録画, 16
- タイマーの編集, 19
- 今すぐに録画する, 20

番組の一時停止とリプレイ, 22

- 番組の一時停止, 22
- リプレイのあいだに, 23
- リプレイバッファー, 24

録画した映像の再生, 26

- 録画した映像のジャンルを選ぶ, 26
- 録画した映像の再生, 26
- 録画した映像の再生中に, 27

録画した映像の編集, 28

- 録画した映像を保護する, 28
- 録画リストを整理する, 28
- 録画した映像を消去する, 29
- 録画した映像をコピーする, 30
- 録画した映像に名前をつける, 30

ディスクの再生

DVD 2を“DVD”として登録していれば、ディスクをセットするだけで自動的に再生が始まります。“VMEM”として登録している場合は、再生の開始を指示する必要があります。

DVD ディスクの再生中は、Beo4リモコンを使ってチャプターを前後に飛ばしたり、サーチしたり、DVD ディスクメニューを呼び出すことができます。前回停止した位置から、そのDVD ディスクの再生を始めることもできます。

CD ディスクの再生中は、再生一時停止、トラックの移動、または再生するトラック番号の指定が行なえます。

注意：工場出荷時のDVD 2は、リージョン2に設定されています。他のリージョン向けのDVD ディスクは、再生できません。リージョン番号の変更については、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。また、設定や記録方法が特殊な一部のDVD ディスクは、再生できないことがあります。

ディスクの再生中に

ディスクを再生している時は、チャプターやトラックの変更、ディスクの一時停止と停止、スローモーション再生が行なえます。

ディスクの再生を開始し、チャプターやトラックを変えるには
DVD またはCD をセットしたあと、GO を押し、それから赤ボタンを押して再生を開始する。あるいは...

...DVD またはCD をセットしたあと、GO を押し、それから0を押してメニューを呼び出す

▼を押してDVDを強調表示させたあと、GOを押してディスクの再生を開始する

映像名やチャプター、トラックを選ぶ

繰り返し押し、ディスク内の他の映像名やチャプター、トラックに移動する

映像名番号、チャプター番号、またはトラック番号を指定する

GO 押してから8を押すと、チャプター選択と映像名選択が切り替わる

GO 押してから7を押すと、1つのチャプターまたは映像の中で前方に戻る

GO 押してから9を押すと、1つのチャプターまたは映像の中で後方に進む

再生中のDVD ディスクを、早送りまたは早戻しする。もう1回押すと速度が変わる

STOP を押すと早送り/早戻しが止まり、GO を押すと再生に戻る

ディスクの一時停止、スロー再生、停止
再生を一時停止する

押し続けるとスロー再生が始まる。もう1回押すと速度が変わる

もう一回押すと再生が完全に停止する。あるいは...

...通常の再生に戻る

GO
7

GO
9

◀ ▶

STOP
GO

STOP

◀ ▶

STOP

GO

注意！工場出荷時には、ディスクの前後に移動していく時間は最長5分間単位とされています。この時間時間を変更するには、54ページの「システムの設定を微調整する」をご覧ください。

DVD 画面メニューを使う

DVD ディスクメニューを使うと、さまざまな機能などが選べるようになります。

DVD 2のスイッチが入っている時に...

GO 押してからテレビメニューの
中の0を押し、DVDメインメニュー
を呼び出す

GO

0

GOを押し、それから赤ボタンを
押してディスクメニューを呼び
出す*

GO



4つの矢印キーを使い、メニュー
の各項目を選ぶ



GOを2回押して、選んだ項目を
承認する

GO

GO

ディスクメニューを消す

EXIT

*ディスクによっては、ディスクメ
ニューが含まれていないこともあり
ます。



DVDメインメニュー

ディスクフォーマット

DVD 2は、いくつかの異なったディスクフォーマットを再生できます。対応しているフォーマットは:

- DVD-Video
- Audio CD
- Video CD
- Super Video CD
- CD-R/RW
- DVD-R/RWただし、DVD Videoフォーマットで記録され、ファイナライズされたディスクに限る
- サンプリング周波数 32, 44.1, または 48 Khzで記録された mp3 ファイルを含むディスク。
mp3 ファイルを含むディスクを再生する場合は、◀と▶でフォルダーが選べる
- 拡張子が[*JPEG]ではなく、[*JPG]となっているJPEG ファイルを含むディスク。

DVD 2が表示できる静止画像は、DCFスタンダードの静止画像、またはTIFF等のJPEG画像だけです

DVD 2の性能を適切に発揮させるためには、各JPEGファイルの大きさを、約1メガピクセル以下に抑えることを推奨します。JPEG画像についての詳細は、38ページの「スライドショーのプレイリストを作る」をご覧ください。

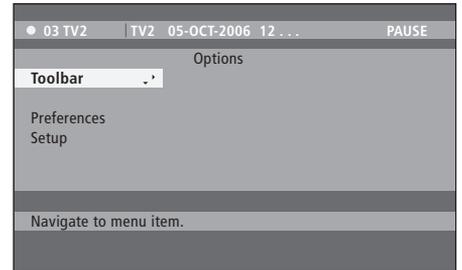
注意! もしも、テレビ画面が暗証コードの入力を要求してきたら、セットしたディスクにはチャイルドロックがかけてられています。再生するには、4ケタの暗証コードを入力します。40ページの「映像へのアクセスを制限する(チャイルドロック)」をご覧ください。

ツールバーを使う

ディスクの種類に応じ、システムメニューを経由して、サウンドトラックを吹き替え版に変更するなどの異なった機能が使えます。

- > 再生中に、Beo4のGOを押してから1を押し、DVD2のシステムメニューを呼び出す
- > ▶▶を押すと、Toolbarの右横のOptionsが強調表示される。OPTIONSで選べる項目は、ディスクの種類などによって異なる
- > ▲または▼を使い、調整したい項目を選んだあと、▶▶を押す
- > ▼を使い、いずれかの項目を強調表示させる
- > GOを2回押してその設定を保存し、メニューを終了する。あるいは…
- > …◀◀を押してその設定を保存したあと、次の設定に移る。
- > EXITを押すと、このメニューが終了する

メニュー内でグレーに塗りつぶされている項目がある場合は、その機能は使用できない、または現在の状態のまま変更できないことを意味しています。



システムメニュー

字幕の言語を変更するには…

この機能は、字幕が他言語に対応しているDVDディスクでのみ使用できます。DVDの再生中に、字幕の言語を変えます。Beo4リモコンの緑ボタンを使っても、この機能を操作することができます。

- > ▼を押してSUBTITLEを強調表示させたあと▶▶を押して言語の選択を始める
- > ▼を繰り返し押して、めざす言語を強調表示させたあと、◀◀を押してその設定を保存する。各言語は、数字または略号で表示されており、たとえば英語は'En'と表示されている

一部のDVDディスクでは、字幕言語の変更は

DVDディスクメニュー経由でしか実行できません。DVDディスクメニューは、GOを押してから赤ボタンを押すことで呼び出せます。

吹き替えサウンドトラックへ変更するには…

この機能は、複数の言語サウンドトラックをもったDVDディスク、または複数のオーディオチャンネルをもったVCDのみで使用できます。この機能は、Beo4の赤ボタンを押すことで呼び出せます。

- > ▼を押してAUDIOを強調表示させたあと、▶▶を押して言語の選択を始める
- > ▼を繰り返し押して、めざす言語を強調表示させたあと、◀◀を押してその設定を保存する。各言語は、数字または略号で表示されており、たとえば英語は'En'と表示されている

一部のDVDディスクでは、吹き替えサウンドトラックの変更はDVDディスクメニュー経由でしか実行できません。

DVDディスクメニューは、GOを押してから赤ボタンを押すことで呼び出せます。

カメラアングルを変えるには…

この機能は、複数のカメラアングルで撮影されたシーンを含むDVDディスクでのみ使用できます。同じシーンを、異なった角度から楽しむことができます。

- > ▼を押してANGLEを強調表示させたあと、▶▶を押す。選択可能なカメラアングルが表示される
- > ▲または▼を使い、めざすアングルを強調表示させたあと、◀◀を押してその設定を保存する

ズームインするには…

テレビ画面上の画像を拡大し、拡大した画像をパンしていくことができます。

- > ▼を押してZOOMを強調表示させたあと、▶▶を押す。Zoomバーとズーム率が表示される
- > Beo4の青ボタンを押すとズームインし、黄色ボタンを押すとズームアウトする
- > ▲▼◀◀または▶▶ボタンを使い、ズームされた画像をパンしていく
- > 赤ボタンを押すと、ズームモードが終了する

時間単位でサーチするには…

この機能は、ディスクを特定の時間まで飛ばした上で再生します。

- > ▼を押してTIME SEARCHを強調表示させたあと、▶▶を押して時間入力フィールドに入る(時:分:秒)。
- > 0-9を使い、再生を始めたい時間を入力したあと、GOを2回押して設定を保存する。再生は、設定された時間から開始される

映像の録画

接続してある映像源やテレビ番組の映像を、お好きな時間に録画することができます。GUIDE Plus+ システムメニューで、タイマーを設定してください。録画は自動的に開始され、終了されます。

最大で25のタイマー設定が行なえ、それぞれの設定が最長6時間まで録画を実行します。タイマー設定は、削除したり編集したりできます。

タイマー設定を確実に実行させるためには、内蔵クロックを正しい日時にセットする必要があります。クロックのセットの方法については、42ページの「各機能設定」をご覧ください。

タイマー録画

タイマー録画は、3つの異なった方法で設定できません。手動で設定する方法、番組ガイドのリスト表示*を使い設定する方法、そしてGコード録画機能を使い設定する方法です。

手動でタイマー録画を設定するには…

- > DVD 2 内蔵チューナーと番号が合致しているいずれかのチャンネルを、テレビに受信させる
- > DVD 2 のスイッチを入れる
- > Beo4 のGO を押してから2 を押し、GUIDE Plus+ スケジュール画面を呼び出す
- > 緑ボタンを押して MANUAL を選択する。録画する日時が表示される
- > ▲▼◀▶ または ▶▶ ボタン、および 0-9 を使って録画する日、開始時刻、終了時刻を入力していく
- > 1 つの入力が終わったら緑ボタンを押す。その設定が保存され、次の項目に移る
- > “TUNER 01” が表示されたら、強調表示させてチャンネル番号を入力する
- 外部機器を選ぶ場合は、同じメニュー内で “TUNER” を強調表示させたあと、▲ または ▼ を使い EXT1 か EXT2、または CAM1 を強調表示させる
- 内蔵チューナーからテレビチャンネルを選ぶ場合は、同じメニューで “01” を強調表示させたあと、0-9 を使いそのチャンネルの登録番号を入力する

- > 緑ボタンを押すと、設定が保存され次の項目に移る。テレビ画面上に、コンピュータのキーボードが表示される。これを使い、設定したタイマー録画に名前をつける
- > 名前を付け終わったら、緑ボタンを押して保存する。Timer recording が表示される
- > 設定した情報は、ピンクを背景として表示される。変更したい場合は、変更したい項目と同じ色の Beo4 カラーボタンを押す
- > GO を押してから2 と押せば、全設定が保存され、このメニューが終了する。タイマー録画が設定されたことを示す TIMER が表示される

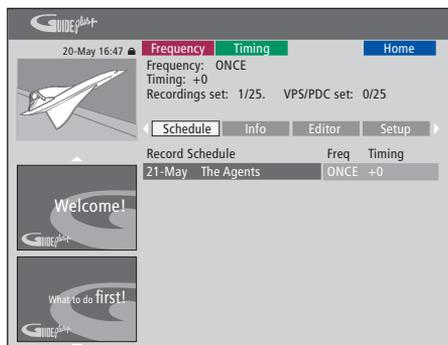
タイマー録画の頻度を選ぶには…

- > Beo4 の赤ボタンを押すと、そのタイマー録画を1回だけ実行するか (Once)、毎週実行するか (Weekly)、特定の曜日に実行するか (M-F) が選べる

録画時間を延長するには…

- > Beo4 の緑ボタンを繰り返し押すと、録画の最後を何分間延長するか選べる (+0, +10, +20, +30)。VPS/PDC (V-P) 機能を選んで、延長は実行できる。VPS/PDC 機能については、17ページを参照してください。

*注意! 番組ガイドのリスト表示に対応していない国もあり、そのような国では、番組ガイドのリストはタイマー録画の設定に使用できません。もちろん、タイマー録画は手動で設定できますし、Gコード録画機能を使い設定することもできます。



手動によるタイマー録画設定の例

タイマー録画が開始される時間に、DVD 2 がスタンバイ上になっていなかった場合は、注意をうながすメッセージが表示されます。このメッセージを無視すると、DVD 2 は自動的に設定されたチャンネルへと切り替わり、録画を開始します。

タイマー録画の実行中は、DVD 2 内蔵チューナーのチャンネルを変えることはできません。

また、Macrovision によるコピー防止対策が施されている映像は、タイマー録画できませんのでご注意ください。

VPS/PDC 機能

VPS/PDC 機能は、VPS/PDC 信号が並送されている番組であれば、急に放送時間に変更されたり延長されたりしても、最初から最後までタイマー録画を可能にします。

番組ガイドのリスト表示*でタイマー録画を設定するには…

- > テレビのスイッチがオンになっている時に、DVD 2のスイッチを入れ、Beo4のGOを押してから2と押し、GUIDE Plus+スケジュール画面を呼び出す*
- > ▲または▼を使って、選ぶチャンネルを強調表示させたあと、◀または▶を使い番組を強調表示させる
- > GOを押したあと▲または▼を押すと、ページが切り替わる。GOを押してから◀または▶を押すと、前日または翌日のリストに飛ぶ。
- > Beo4の赤ボタンを押すと、RECORD (録画) が指示される
- > EXITを押すと、このメニューが終了する

*もしGUIDE Plus+の設定メニューが現われた場合、このDVD 2には、まだGUIDE Plus+番組データがインストールされていません。詳しくは、52ページの「GUIDE Plus+システム設定」をご覧ください。

Gコードを使ってタイマー録画を設定するには…録画したい番組につけられたGコード番号を、入力します。各番組のGコード番号は、テレビ情報誌などに掲載されています。

- > テレビのスイッチがオンになっている時に、DVD 2のスイッチを入れ、Beo4のGOを押してから2と押し、GUIDE Plus+スケジュール画面を呼び出す
- > Beo4の赤ボタンを押し、Gコード番号の入力画面を呼び出す
- > 0-9を使って選んだ番組のGコード番号を入力したあと、GOを2回押して保存する。もし誤った番号を入力した場合は、手動で正しい番号を選ぶ必要がある。テレビのユーザーガイドを参照しながら、日付と時刻を訂正してください
- > 設定した情報は、ピンクを背景として表示される。変更したい場合は、変更したい項目と同じ色のBeo4カラーボタンを押す
- > GOを押してから2と押せば、全設定が保存され、このメニューが終了する。タイマー録画が設定されたことを示すTIMERが表示される

録画の繰り返しと時間延長については、16ページをご覧ください。

注意！番組ガイドのリスト表示に対応していない国もあり、そのような国では、番組ガイドのリストはタイマー録画の設定に使用できません。もちろん、タイマー録画は手動で設定できますし、ShowView、Gコード、VideoPlus+システムを使い設定することもできます。

タイマー設定の編集

これから実行されるタイマー設定を確認したり、編集、または削除することができます。もし同じタイマー設定が重複すると、設定を保存する際に注意が表示されます。

- > テレビのスイッチがオンになっている時に、DVD 2のスイッチを入れ、Beo4のGOを押し続けてGUIDE Plus+メニュー画面を呼び出す
- > ▼を押し、削除または編集したいタイマー設定を強調表示させる。

タイマー設定を編集するには…

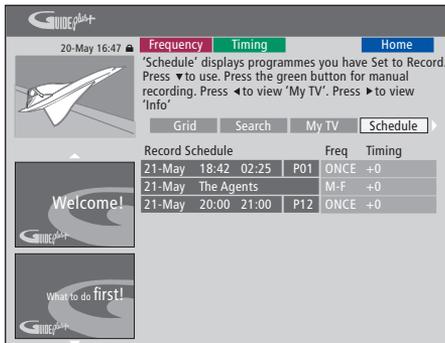
- > 編集したいタイマー設定を強調表示させ、Beo4の緑ボタンを押してEDITを選択し、あとはテレビ画面上に表示される手順に従う
- > GOを押してから2を押すと、新しい設定が保存され、このメニューが終了する

タイマーで実行する頻度やタイミングを変更するには…

- > メニューの中の、変更したい項目が書かれたフィールドを強調表示させ、頻度を変えるなら赤ボタンを、タイミングを変えるなら緑ボタンを押す
- > GOを押してから2を押すと、新しい設定が保存され、このメニューが終了する

タイマー設定を削除するには…

- > 削除したいタイマー設定を強調表示させ、Beo4の赤ボタンを押してDELETEを選択する
- > GOを押してから2を押すと、新しい設定が保存され、このメニューが終了する



曜日の略号は以下の通りです:

- M… 月曜
- T… 火曜
- W… 水曜
- T… 木曜
- F… 金曜
- S… 土曜
- S… 日曜

もし同じタイマー設定が重複すると、設定を保存する際に注意がうながされます。一部だけが重複している2つのタイマー設定は、どちらも保存されますが、2番目の設定は、1番目が終了しない限り実行されません。

保存した各タイマー設定の内容は、開始時刻の後にリスト表示されます。映像源名、設定名(名前がつけられた場合)、開始および終了時間、日付または曜日が表示されます。

今すぐに録画する

現在見ている映像の録画を、ただちに開始することができます。ある番組をハードディスクに録画しながら、テレビで別の番組を見ることができますし、DVD ディスクの映像も見られます。ただし、条件によっては、別の映像源や番組に切り替えられない場合もあります。

DVD 2の内蔵チューナーから録画している時に、別の映像を見るには…

- > DVD 2のスイッチが入っている時に、GOを押してから黄色ボタンを押し、内蔵チューナーを呼び出す
- > ▲または▼、あるいは0-9を使いチャンネル番号を選ぶ
- > RECORDを2回押す*。DVD 2は、今見ている映像を最長6時間まで録画し続ける。そのあいだ、別の映像を見ることもできる

録画中に、ハードディスクに保存されている映像を見る場合

- > GOを押してから緑ボタンを押し、ハードディスクに切り替える
- > ▲または▼を使って、HARD DISC CONTENTメニューから見たい映像を選び、GOを押して再生を開始させる

録画中に、DVD ディスクの映像を見る場合

- > DVD 2のLoadボタンを押してDVD ディスクをセレクトし、再生を開始させる

録画中に、テレビ番組を見る場合

- > TVボタンを押してテレビモードに切り替える
- > ハードディスクやDVD ディスクなどの映像を見たあと、内蔵チューナーへ戻るには、GOを押してから黄色ボタンを押し、あるいは…
- > …DVD ボタンを押してDVD 2プレーヤーに戻る。テレビ番組を見たあとは、いったんDVD 2プレーヤーに戻り、その後GOを押してから黄色ボタンを押しDVD チューナーに戻る
- > STOPを2回押して、録画を終了させる
- > スタンバイボタンを押すと、システム全体がスタンバイ状態になる

使用するDVD 2が、DVDではなくVMEMまたはV.AUX2に登録されている場合は、Beo4でVMEMまたはV.AUX2を選ぶ必要があります。

録画中は、DVD 2内蔵チューナーのチャンネルは変更できません。

*注意！一部のBang & Olufsen テレビは、RECORDを1回押すだけで録画を開始します。録画の指示を受けたDVD 2は、自動的に6時間の最長録画を始めます。RECORDをもう1回押すと、録画時間は30分だけに限定されます。その後は、RECORDを1回押すたびに、最長の6時間に達するまで30分ずつ加算されていきます。

他の映像源から録画するには…

端末機器など、DVD 2内蔵チューナー以外の映像源から、番組を録画することもできます。

- > 録画したい番組を見ながら、Beo4のRECORDボタンを2回押すと、録画が開始される*
- > STOPを2回押すと、録画が終了する。押さないと、6時間が経過した時点で自動的に終了する

録画中は、映像源やチャンネルを切り替えないでください。また、テレビや録画している映像源機器を、スタンバイ状態にしないでください。これらを行なうと、DVD 2は、テレビおよび録画している映像源との接触を失ってしまいます。

録画中にチャンネルを変えるには…

テレビチューナーで選んだ番組を見ている時に、RECORDを指示すると、DVD 2は、最長で40秒かけて内蔵チューナーからそのチャンネルを検出します。この間、本体上のインジケータライトがオレンジ色に点滅します。この点滅が終わり、インジケータライトがオレンジ色のまま点灯し続けるまで、チャンネルを変えないでください。また、録画しているテレビチューナーのチャンネルを、DVD 2の内蔵チューナーが同時に受信していない場合は、チャンネルを変えないでください。もしチャンネルを変えると、内蔵チューナー側のチャンネルが録画されていきます。

注意！ 録画が進行している間や、ハードディスクが保護された映像で一杯になっている場合は、新たな録画を始めることはできません。

DVD 2の内蔵ハードディスクレコーダーは、放映中のテレビ番組を、一切のカットなしで一時停止させることができます。一時停止した番組は、のちほど最後まで完全に見られます。

DVD 2は、スイッチを入れられると同時に、画面上のテレビ番組を、内蔵している最長6時間のリプレイバッファに保存していきます。一時停止を解除してリプレイを見始めても、バッファへの保存は続行されるので、番組全体を完全に楽しめます。

現在放送中の映像への切り替えは、いつでも行なえます。

番組を一時停止する

放送中の番組を一時停止し、あとでリプレイする場合は、そのチャンネルをDVD 2内蔵チューナーで受信しておく必要があります。現在録画中の番組も一時停止できますが、DVD 2が、他の番組を録画している時や映像をコピーしている時は、番組の一時停止とリプレイはできません。また、Macrovisionによりコピー防止対策が施されている映像も、一時停止とリプレイはできません。

DVD 2内蔵チューナーを選ぶには…

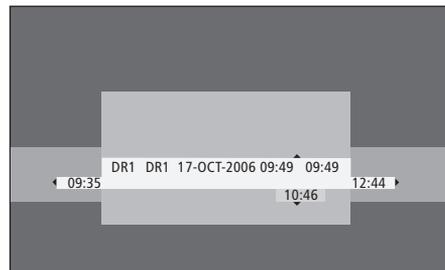
> GOを押してから黄ボタンを押し、内蔵チューナーを呼び出す

放送中の番組を一時停止するには…

> STOPを押すと、放送中の番組が一時停止する

> GOを押すと、停止したところから再開する

> GOを押してから黄ボタンを押すと、現在放送中の映像に戻る



テレビ画面上のリプレイ表示の例。1回だけ一時停止された番組が、リプレイされています。9:35はそのテレビ番組の受信開始時刻、12:44は現在の時刻を示します。10:46は、リプレイされている番組内の時間を示しており、放送が続いている番組から、どれくらい遅れているかが確認できます。

リプレイのあいだに

リプレイを行なっているあいだは、リプレイバッファ一内を早送り/早戻ししたり、スローモーションで再生したり、フレームごと、または1分ごとに飛ばしていくことができます。	STOPを押してからGOを押すと、バッファからその番組のリプレイが再開される	STOP GO	リプレイのあいだに、チャンネルを変えるには... リプレイ中は、いつでも、現在放送中の別のチャンネルに切り替えることができます。ただし、チャンネルを変えると、リプレイバッファは元の番組の保存を中止し、新しいチャンネルの番組を保存し始めます。
一時停止した番組をリプレイするには... その番組のリプレイを開始する	放送中の番組を見ながら、GOそして7と押すと、1回押すごとに5分ずつ後方に戻る	GO 7	リプレイのあいだに、映像源を変えるには... DTVやTVなど、外部の映像源に切り替えると、DVD 2は切り替えられてから30秒後に自動的に停止します。リプレイバッファへの保存も中止され、同時にリプレイバッファ内の映像がすべて消去されます。
リプレイ中に、前後のマーカ-、またはチャプターに飛ぶ	放送中の番組の後方に飛んだあと、GOそして9と押すと、1回押すごとに5分ずつ前方に進む	GO 9	DVDディスクなど、DVD 2が内蔵している映像源に切り替えた場合、リプレイバッファは何の影響も受けません。
リプレイ中に、早送りと早戻しを行なう。もう1回押すと速度が変わる	前後に飛ばしながらリプレイバッファの両端まで到達すると、そこからリプレイが自動的に再開されます。	▶▶ ◀◀	重要! リプレイバッファに保存された内容は、保護されていません。もしバッファが一杯なのに、さらに番組を保存させると、新しい番組が保存されるのに伴って、最も古い内容が消去されていきます。ある番組を確実に最後まで保存したい時は、ハードディスクに録画してください。
リプレイを一時停止する		STOP	
リプレイの一時停止中に繰り返し押すと、フレーム単位で前後に飛ぶ		▲ ▼	
一時停止中に押すと、スローモーションでのリプレイが始まる。もう1回押すと速度が変わる		▶▶ ◀◀	

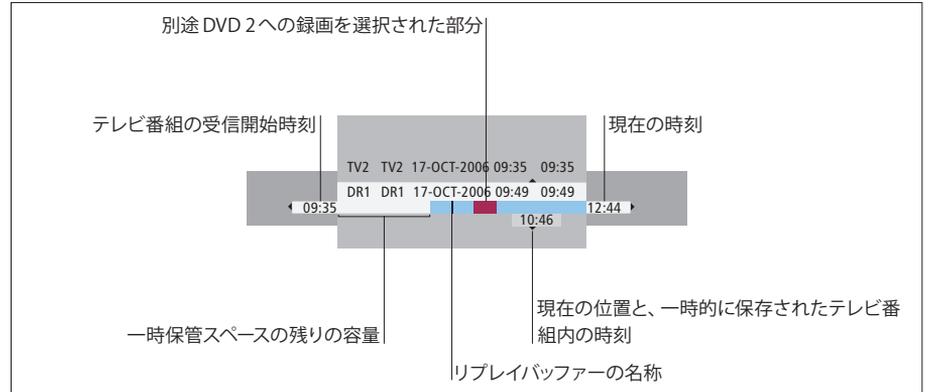
ハードディスクへの録画や、リプレイバッファの詳細については、24ページの「リプレイバッファ」をご覧ください。

注意! リプレイ中は、Teletext(文字放送)を見ることはできません。

リプレイバッファ

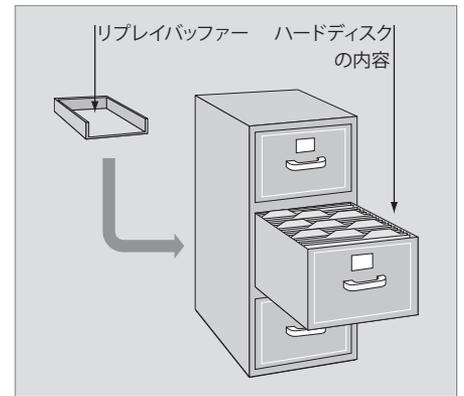
DVD 2の内蔵チューナーで受信している現在放送中のテレビ番組は、DVD 2のスイッチを入れると同時に、リプレイバッファと呼ばれるハードディスク内の一時保管スペースに保存され始めます。このバッファは、最長6時間まで、受信した番組を保存していきます。

リプレイ映像バーを、テレビの画面上に表示させることができます。このバーは、ハードディスク内の一時保管スペースに、番組がどのように保存されているかを示します。Beo4でGOを押してから青ボタンを押すと、このバーの表示、非表示が切り替えられます。



リプレイ映像バーには、次の情報が表示されます:

- テレビ番組の受信開始時刻。保存時間が6時間を超えると、保存された映像の最初の部分が消去され、この開始時刻も新しいものと差し替わります。
- 一時保管スペースの残りの容量。
- 別途DVD 2への録画を選択された部分(赤く表示されます)。
- 現在の位置と、一時的に保存されたテレビ番組内の時刻。
- 現在のリプレイバッファの名称(1つのチャンネルを1分以上見ていると、新しい名称に差し替わられます)。
- 現在の時刻。



注意：リプレイバッファは、テレビ番組を最長6時間まで一時的に保存します。保存された内容は、STANDBYを指示してDVD 2のスイッチを切ると、すべて消去されます。ただし、DVD 2のスイッチを切った時に録画が進行していれば、DVD 2が録画を終えるまで、リプレイバッファは消去されません。

保存容量の管理と保護

DVD 2には、保存容量保護機能が備えられており、必要に応じて、手動またはタイマー録画のための容量を自動的に確保します。容量の確保は、ハードディスクに保存されている映像を適宜消去することで実行されます。

リプレイバッファの映像をマーキングするには…
一時保管スペースに保存された映像を、ハードディスクへ録画するためには、その映像を“マーク”する必要があります。詳しくは、次の「リプレイバッファから録画する」をご覧ください。

映像(番組)を選ぶには

- > GOを押してから青ボタンを押し、リプレイ映像バーを表示させる
- > GO押してから ▲ または ▼ を押し、映像を選ぶ

映像の中の特定のシーンを選ぶには

- > ◀ または ▶ を使う

現在の番組を録画するには

- > RECORDを2回押す。もう1回RECORDを押すと、その後の30分間が録画される

現在のシーンをマークするには

- > 赤ボタンを押す

マークをキャンセルするには

- > 赤ボタンを押す

録画を終了するには

- > STOPを2回押す

画面上にリプレイ映像バーが表示されている時、DVD 2は再生モードとなっており、<と> ▲ ▼ ◀ ▶ ボタン、および ▶▶ ボタンでカーソルを動かすことはできません。リプレイバーの表示中にBeo4の黄ボタンを押し、保存された内容のリストに入れば、▲ ▼ ◀ または ▶▶ でリスト内の項目が選べるようになります。

リプレイバッファから録画するには

- > Beo4のGOを押してから青ボタンを押し、リプレイ映像バーを表示させる
- > GOを押してから ▲ または ▼ を押し、一時保存されているテレビ番組の映像を選ぶ
- > ◀ または ▶▶ を使い、録画したいシーンの冒頭を呼び出したあと、STOPを押す
- > Beo4の赤ボタンを押すと、呼び出したところから録画が開始される
- > GOを押すと再生が続行される
- > ▶▶ を押して、録画を終了させたいところを呼び出し、Beo4のSTOPを2回押す。映像バーの上が赤に変わり、マークで囲んだ部分が録画されたことを示す
- > GOを押すと再生が続行する。あるいは、GOを押してから黄ボタンを押すと、DVD 2内蔵チューナが受信中の映像に切り替わる

リプレイバッファの内容を消去するには…

- ハードディスク上の一時保管スペースに保存されている内容は、次の手順で消去できます:
- Beo4のGOを押してから5を押し、カムコーダーモードに入る
 - システムメニューからSETUPメニューに入る
 - RECORD MODEを選ぶ
 - DVD 2をスタンバイ状態にする

上の4つの手順のうち、3つ目までを実行した時点で、「そのまま続けますか」と質問されます*。一時保管スペースの内容の消去を続ける場合は:

- > Beo4のGOを2回押し、メニューの中からYESを選ぶ。あるいは
- > メニュー中からNOを強調表示させ、GOを2回押し、消去することなくこのメニューから離れる

*スタンバイボタンを押してしまうと、この質問は表示されません。DVD 2はただちにスタンバイ状態となり、リプレイバッファの内容もすべて消去されます。

録画した映像の再生

録画した映像のジャンルを選んだり、録画した映像の再生と一時停止、停止、チャプターの移動、早送りと早戻しができます。スロー再生も可能です。再生したい録画済みの映像を選ぶと、DVD 2 は、前回その映像が再生されたとき最後に停止したところから、自動的に再生を開始します。

録画した映像は、ハードディスク内で TITLES として整理されます。映像には、自動的に名前 (TITLE) をつけることができますし、タイマー設定をする際、好きな名前をつけることもできます。映像の名前を変更する方法については、30 ページの「録画した映像に名前をつける」をご覧ください。

録画した映像のジャンルを選ぶ

録画済みの映像を、ジャンル分けした上で保存することができます。その映像は、リストから速く探し出せるようになります。

DVD 2 のスイッチが入っている時に...

- > GO を押してから緑ボタンを押し、HARD DISC CONTENT メニューを呼び出す
- > ▲ または ▼ を使い、映像名を強調表示させたあと、GO を押してから 3 を押し、編集モードに入る
- > メニュー内の GENRE を強調表示させ、▶ を押す
- > ▲ または ▼ を使って、ジャンル名を強調表示させ、GO を 2 回押して設定を保存する
- > GO を押してから 3 を押し、編集モードを終わらせる。

録画した映像の再生

- > GO を押してから緑ボタンを押し、HARD DISC CONTENT メニューを呼び出す
- > ▲ または ▼ を使い、再生したい映像名を強調表示させる
- > GO を押すと、強調表示された映像の再生が始まる

映像の再生中に、Beo4 で GO を押してから青ボタンを押すと、再生状態に関する情報がいつでも呼び出せます。もう一度 GO を押してから青ボタンを押すと、再生状態の表示、非表示が切り替えられます。

録画中の映像を再生するには...

録画が終了するのを待たずに、録画中の映像を再生させることができます。録画中の映像の再生は、いつでも実行できます。

- > 録画がまだ続いている間に、GO を押してから緑ボタンを押し、HARD DISC CONTENT メニューを呼び出す
- > ▲ または ▼ を使い、録画中の映像名を強調表示させる
- > GO を押すと、強調表示された映像の再生が始まる

録画中に再生を行なった場合、再生は、その映像のいちばん最初から開始されます。再生を行なっても、録画作業には何の影響もありません。

注意！ スタンバイ状態からスイッチを入られた DVD 2 が、完全に起動を終えるには、約 40 秒かかります。

録画した映像の再生中に

録画した映像の再生中は、特定のチャプターに移動したり、映像をスローモーションで再生したり、一時停止することができます。

チャプターを変えるには…
1つ前のチャプター、または1つ後のチャプターに飛ぶ ▲ ▼

再生中に、映像を早送りまたは早戻しする。もう1回押すと速度が変わる ◀ ▶

GOを押してから7を押すと、録画した映像の前方に向かって移動する GO 7

GOを押してから9を押すと、録画した映像の後方に向かって移動する GO 9

一時停止状態から、スローモーション再生を開始する ▶▶

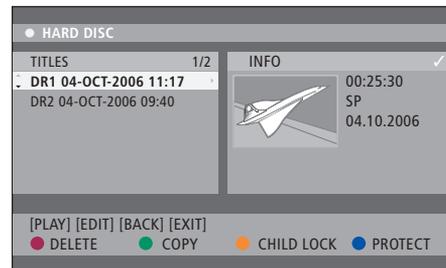
一時停止状態から、後方に向かってスローモーション再生を開始する ◀◀

再生を一時停止する、または停止するには…
再生を一時停止する STOP

フレーム単位で前後に移動する ▲ ▼

もう1回押すと再生が完全に停止する。HARD DISC CONTENTメニューが表示される STOP

再生が再開する GO



HARD DISC CONTENTメニュー

録画した映像の編集

もしも、保存容量を使い切ったハードディスクに、タイマー録画や手動録画を行なおうとすると、DVD 2は、古い録画を自動的に消去することで、新しい映像のための保存容量を確保します。

とはいえ、大切に保存しておきたい録画済みの映像を、この機能から除外し、保護することもできます。また、不要な映像を手動で消去することにより、ハードディスクの保存容量を管理することもできます。

さらに、録画したたくさんの映像を、整理することもできます。

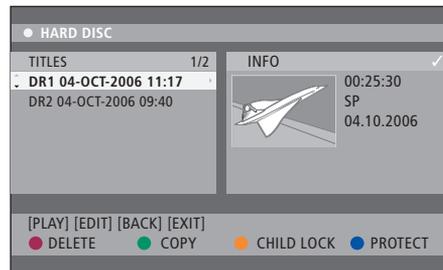
録画した映像を保護する

保護された映像は、いかなる場合においても、保存容量の自動管理機能から除外されます。もし、保護された映像でハードディスクの容量が一杯になってしまうと、それ以上のタイマー録画や手動録画は行なえません。

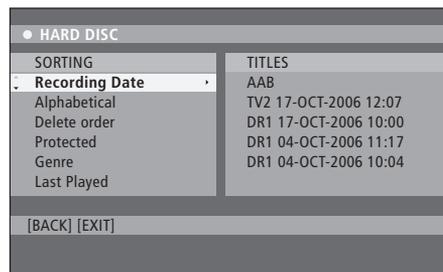
映像を保護するには…

- > GOを押してから緑ボタンを押し、HARD DISC CONTENTメニューを呼び出す
- > ▲または▼を使い、保護したい(または保護を解除したい*)映像名を強調表示させる
- > 青ボタンを押すと、その映像が編集や自動消去機能から保護される(または保護が解除される)

録画中にハードディスクが一杯になると、録画作業は自動的に中止されます。



各項目の色にマッチしたBeo4カラーボタンを押すことで、録画した映像の消去や保護といった編集項目が選べます。



分類メニュー

*注意! 録画した映像は、TITLES (映像名)と共にハードディスクへ保存されます。もし名前をつけないと、自動的に新しい名前が与えられます。この名前は、後日変更できます。詳しくは、30ページの「録画した映像に名前をつける」をご覧ください。

録画リストを整理する

録画した複数の映像を、何らかの分類基準に従って並べ変えると、各映像を見つけ出しやすくなります。この分類リストは、CONTENT MENUを終了するまで保持されます。

DVD 2のスイッチが入っている時に...

- > GO押してから0を押し、HARD DISCメニューを呼び出す
- > ▶を押し、SORTINGメニューを選ぶ
- > ▲または▼を使い、分類の基準を選ぶ
- > EXITを押すと、このメニューが終了する

分類の基準

RECORDING DATE … 録画された日付順にリスト表示。

ALPHABETICAL … 映像名のアルファベット順にリスト表示。

DELETE ORDER … ハードディスクの容量が一杯になった、またはなりかけた時、新たな録画を行なうため消去されていく順のリスト表示。ここでの消去は、手動で行なう必要があります。

PROTECTED … 消去されないよう、保護された映像のリスト表示。

GENRE … ジャンル別のリスト表示。

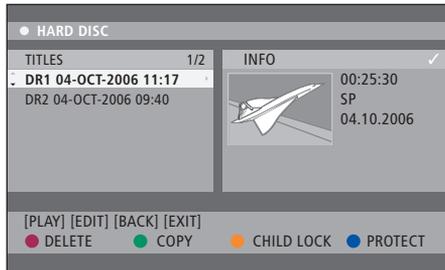
LAST PLAYED … 最後に再生された日付順にリスト表示。

録画した映像を消去する

不要となった録画済みの映像を、いつでも消去することができます。ただし、保護されている映像を消去する場合は、まずその映像の保護を解除する必要があります。

映像を消去するには…

- > GOを押してから緑ボタンを押し、HARD DISC CONTENTメニューを呼び出す
- > ▲または▼を使い、消去したい映像名を強調表示させる
- > 赤ボタンを押すと、強調表示された映像がハードディスクから消去される



録画した映像をコピーする

DVD 2 内蔵ハードディスクに録画した映像を、録画可能なDVDディスクにコピーすることができます。

DVD 2のスイッチが入っている時に...

- > GOを押してから緑ボタンを押し、HARD DISC CONTENTメニューを呼び出す
- > ▲または▼を使い、コピーしたい映像名を強調表示させる
- > 緑ボタンを押すと、強調表示された映像がハードディスクから録画可能DVDディスクにコピーされる

録画した映像に名前をつける

録画したテレビ番組が自動的に名前をつけられていたり、お客様が手動で録画を行なった場合は、新しい名前をつけることで、この映像をHARD DISC CONTENT内から素早く見つけられます。

DVD 2のスイッチが入っている時に...

- > GOを押してから緑ボタンを押し、HARD DISC CONTENTメニューを呼び出す
- > ▲または▼を使い、映像名を強調表示させたあと、GOを押してから3を押し、編集モードに入る
- > メニュー内のTITLE NAMEを強調表示させたあと、▶を押す
- > ▲または▼を使い、英文字や数字を変えていく。または0-9を使って入力する◀または▶を押すと、前後の入力フィールドに移動するGOを押してから8を押すと、大文字/小文字が切り替わるBeo4の赤ボタンを押してCLEARを選ぶと、その映像の名前が空白になる
- > GOを2回押し、設定を保存する
- > GOを押してから3を押し、編集モードを終わらせる。

この章では、録画した映像をさらに細かく編集したり、操作する方法について説明します。映像を、分割または統合させることができます。スライドショーを実行したり、チャイルドロック機能を使って、映像へのアクセスを制限することもできます。さらに、録画モード、自動保護設定、サウンドモードなど、各機能設定の変更についても説明します。

録画した映像の二次的な編集, 32

- 1本の映像を分割する, 32
- チャプターを統合する、または分割する, 33
- 不要なシーンを隠す, 33
- 隠したシーンを元に戻す, 33
- チャプターマーカーをすべて削除する, 34
- DVDディスクを編集する, 34

二次的な再生機能, 36

- 再生中の機能, 36
- スライドショーのプレイリストを作る, 38

映像へのアクセスを制限する (チャイルドロック), 40

- チャイルドロックをオンにする, 40
- チャイルドロック暗証コードを設定する, 41

各機能設定, 42

- 各機能設定を微調整する, 42

録画した映像から不要なシーンを隠したり、1本の映像を2本の別々の映像に分割することができます。

OPTIONSメニューから、選んだ録画済み映像の各種設定をオン/オフしたり、変更することができます。

注意：保護された録画済み映像に、編集を施すことはできません。詳しくは28ページの「録画した映像を保護する」をご覧ください。

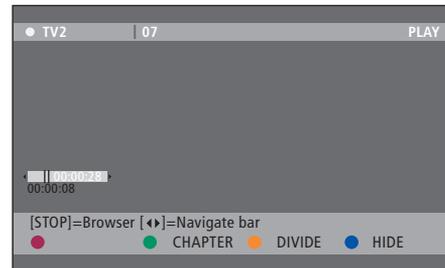
1本の映像を分割する

録画済みの1本の映像を、2本以上に分割することができます。この機能は、映像の中の不要な部分を消去したり、分離する場合にも便利です。また、長い1本の映像の中から、特定のシーンだけを簡単に見つけれられるようになります。

映像を2本に分割するには…

- > 映像の再生中に、GOを押してから3を押す
- > ◀または▶を使い、編集したいシーンを呼び出したあと、STOPを押す
- > Beo4の黄ボタンを押し、DIVIDEを選択する。再生中の映像とは別に、2本目の映像とインデックス画像が作られる*。2本目の映像も、1本目と同じ名前をつけられているが、この名前は30ページに書かれている方法でいつでも変更できる。開始時間や経過時間など、画面上の時刻表時も、分割の結果に応じて変更される

注意：いちど分割した映像を、再び1本に戻すことはできません。



1本の映像を、お好きなところで2本に分割します。

*注意！録画した映像は、TITLES(映像名)と共にハードディスクへ保存されます。もし名前をつけないと、自動的に新しい名前が与えられます。この名前は、後日変更できます。詳しくは、30ページの「録画した映像に名前をつける」をご覧ください。

CHAPTERを統合する、または分割する 不要なシーンを隠す

SPLIT機能を使って、CHAPTERマーカーを追加することができますし、MERGEを使い、CHAPTERマーカーを削除することができます。

- > 映像の再生中に、GOを押してから3を押し、編集モードに入る
- > Beo4の緑ボタンを押してCHAPTERを選択する。CHAPTER編集メニューが表示される
- > ▲または▼を使い、編集したいシーンを呼び出したあと、STOPを押す
- > メニュー最下段に表示された項目の色と、マッチするBeo4カラーボタンを押し、編集する項目を選択する
- > 緑ボタンを押すと、1つ前の画面に戻る
- > GOを押してから3を押し、編集モードを終わらせる。

CHAPTERを統合するには…

- > Beo4の赤ボタンを押すと、現在のCHAPTERが1つ前のCHAPTERと統合される。それぞれのCHAPTERが、2つとも隠されていた場合は、新たに1本化されたCHAPTERも隠される

CHAPTERを統合するには…

- > 黄ボタンを押すと、現在再生されている場所に、新しいCHAPTERマーカーが挿入される。これによって、長い映像の中から特定のシーンを速く選べるようになったり、コマーシャルなどの隠したいシーンをCHAPTERで区切ることができる

ハードディスク上に録画された1本の映像の中で、設定できるCHAPTERマーカーの総数には、限界があります。

コマーシャルなどの不要なシーンを隠してしまい、飛ばしながら再生することができます。隠したシーンを元に戻すこともできます。

- > 映像の再生中に、GOを押してから3を押し、編集モードに入る
- > ▲または▼を使い、隠したいシーンの冒頭を呼び出したあと、STOPを押す
- > Beo4の青ボタンを押し、HIDEを選択する。隠すシーンの冒頭にマーカーが入られる
- > ▲を押して隠したいシーンの最後部まで早送りし、緑ボタンを押してSTOP HIDEを選択する。隠すシーンの最後に、マーカーが入られる。隠した部分はグレーに塗りつぶされる。この操作をキャンセルする場合は、Beo4リモコンの青ボタンを押し、CANCELを選択する
- > GOを押してから3を押し、編集モードを終わらせる。

隠したシーンを元に戻すには…

- > 映像の再生中に、GOを押してから3を押し、編集モードに入る。編集モードに入っている時は、隠したCHAPTERの再生も可能になる
- > 元に戻したいシーンの冒頭で、Beo4の青ボタンを押しSHOWを選択する。そのシーンの冒頭にマーカーが入られる
- > ▲を押して、元に戻したいシーンを最後部まで早送りし、緑ボタンを押してSTOP SHOWを選択する。元に戻すシーンの最後に、マーカーが入られる。この操作をキャンセルする場合は、Beo4リモコンの青ボタンを押し、CANCELを選択する
- > GOを押してから3を押すと、編集モードが終了する

映像編集モードでは、隠したシーンもすべて再生されます。

チャプターマーカーをすべて削除する

チャプターマーカー機能をONにすると、録画中、あらかじめ決められた間隔でマーカーが自動的に挿入されていきます。録画の終了後に、チャプターマーカーをすべて削除することもできます。

- > 映像の再生中に、GOを押してから3を押し、編集モードに入る
- > Beo4の赤ボタンを押して、NO CHAPTERを選択する。再生中の映像から、すべてのチャプターマーカーが削除される。
- > GOを押してから3を押し、編集モードを終わらせる。

工場出荷時、チャプターマーカー機能はOFFになっています。チャプター設定の変更方法については、43ページの「各機能設定を微調整する」をご覧ください。

DVDディスクを編集する

録画済みDVDディスクの内容や設定を、編集メニューから変更できます。ただし、ファイナライズされたDVD±Rは編集できません。編集したディスクを、別のDVDプレーヤーで再生した場合は、変更が反映されないこともあります。

編集メニューに表示される項目は、ディスクの種類と状況によって少し違ってきます。メニュー内の各項目は次の通り:

- ディスク名を変える
- DVD対応にする(DVD±RWのみ)
- ディスクをファイナライズする(DVD±Rのみ)
- 映像の名前を変える
- 映像の編集

コンピュータドライバー、または他のレコーダーで録画されたDVD±RWでは、映像インデックス画面が正しく表示されない場合があります。そのディスクを編集するためには、まず、そのディスクのメニューをDVD2のフォーマットに適合させる必要があります。DISC SETTINGSからADAPT MENUを選ぶと、問題のディスクのフォーマットが、Bang & Olufsenタイプに変更されます。詳しくは、42ページの「各機能設定」をご覧ください。GOを2回押すと、変更の承認を求めるメッセージが、テレビ画面に表示されます。

DVD ディスクの映像を消去するには…

- > 録画済みのDVD ディスクを、DVD 2にセットする。Index Picture 画面が表示される。表示されない場合は、GOを押してから赤ボタンを押す
- > ▼または▲を使い、メニュー中の映像名を1つ強調表示させる
- > Beo4の赤ボタンを押してDELETEを選択すると、その映像が消去される
- > 警告メッセージが表示される。次に進むのであれば、GOを2回押す*。そうでない場合は、メニュー内のCANCELを強調表示させたあと、GOを2回押して操作を中止する

DVD ディスクの映像を保護するには (DVD±RW)…

- DVD±RWに録画した映像が、誤って消去されたり編集されるのを防ぐため、保護することができます。
- > 録画済みのDVD±RW ディスクを、DVD 2にセットする。Index Picture 画面が表示される。表示されない場合は、GOを押してから赤ボタンを押す
- > ▲または▼を使い、メニュー中の映像名を1つ強調表示させる
- > Beo4の青ボタンを押してPROTECTを選択すると、その映像が保護される。保護されている映像を選んで青ボタンを押すと、UNPROTECTと表示される。その映像の保護が解除され、消去可能となる

*注意！ DVD±RW ディスクで映像を消去すると、Index Picture 画面には「Empty Title」(名前なし)と表示されます。消去によって空いた容量分に、新しい録画を行なうことができます。DVD±R ディスクで映像を消去すると、Index Picture 画面には消去された部分が「Deleted title」として表示されます。その後の再生中、消去された部分は飛ばされていきます。DVD±R ディスクの場合、空いた容量分に新しい録画を行なうことはできません。

二次的な再生機能

二次的な再生機能を使うと、映像の一部をリピート再生したり、DVD ディスクをスキャンしたり、シャッフル再生が行なえるようになります。スライドショーのプレイリストを、作成することもできます。

一部のディスクでは、以下に説明する機能が使えない場合もあります。

再生中の機能

ディスクを再生している時、Beo4のカラーボタンを押すことによって、二次的な再生機能が操作できるようになります。

リピート再生を行なうには…

リピート再生機能は、ディスクの種類によって違いがあります。

- > 映像の再生中に Beo4の黄ボタンを押すと、以下のリピート項目が選択可能になる
 - チャプターのリピート (DVD, DVD±R/±RWのみ)
 - トラック単位/映像単位のリピート
 - アルバム単位/プレイリスト単位のリピート(設定されている場合)
 - ディスク全体のリピート (ビデオ CD, オーディオ CD, DVD±R/±RWのみ)
- > リピート再生をキャンセルするには、リピートモードがオフになるまで黄ボタンを繰り返し押し。または STOP を 2回押し

映像の一部 (A-B) をリピートするには…

映像の一部を、1本の映像の中で、またはチャプターやトラックをまたぎ超えリピート再生することができます。これを実行するためには、開始地点と終了地点を、あらかじめマークしておく必要があります。

- > 映像の再生中に、Beo4の青ボタンを押す。押しただころが、リピート再生の開始地点としてマークされる
- > 青ボタンをもう一回押しすと、押したところが、リピート再生の終了地点としてマークされる。映像バーに、2つのマーカーが表示される。再生を指示すると、マークされた開始地点からリピート再生が開始される。選んだ部分は、リピートをキャンセルするまで、リピート再生される。
- > リピート再生をキャンセルするには、もう1回青ボタンを押す

DVD ディスクをスキャンするには…

(CD, VCD, DVD±R/±RW ディスクのみ)

この機能は、ディスクに収録された各トラックの、最初の10秒間だけを次々と再生していきます。この機能は、Beo4のGOを押してから1を押したとき、画面の最下段に SCAN と表示されている場合のみ使用できます。

- > 映像の再生中に、Beo4の赤ボタンを押す。DVD 2 は、10秒間だけ再生を続けたあと次のトラックに飛ぶ
- > 赤ボタンをもう1回押しすと、通常の再生に戻る

シャッフル再生を行なうには…

(VCD, DVD +/- R, DVD +/- RWのみ)

この機能は、ディスクに収録された各チャプターを、順不同に再生していきます。

この機能は、Beo4のGOを押してから1を押したとき、またはGOを押してから青ボタンを押したとき、画面の最下段に SHUFFLE と表示されている場合のみ使用できます。

- > Beo4の緑ボタンを押す。順不同で全チャプターの再生が始まる
- > シャッフル再生をキャンセルするには、もう1回青ボタンを押す

スライドショーのプレイリストを作る

1枚のディスクに保存したJPEG静止画像を、1冊のアルバムとして整理することにより、スライドショーが楽しめます。DVD 2は、各JPEGファイルの大きさにもよりますが、1枚のディスクにつき最大100枚までのJPEG画像を1冊のアルバムとして処理できます。

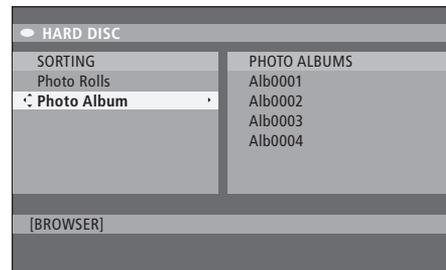
- > 気に入っている写真を、PHOTO ROLLSから選んでアルバムに加え、新しいスライドショーのプレイリストを作る。詳しくは、「写真をアルバムに加えるには」をご覧ください
- > 必要とあらば、アルバム中の写真を編集する。詳しくは、「アルバムを編集するには」をご覧ください
- > メニューの中でアルバムを強調表示させ、GOを押すと、スライドショーが始まる

PHOTO ROLLSとPHOTO ALBUMについて…

- PHOTO ROLLSとは、オリジナルのJPEGを保存して保護するフォルダです。従来のフィルムカメラの、撮影済みフィルムに相当します。各ロールは、デジタルカメラから自動的に作成されます。
- PHOTO ALBUMは、各ロールから選ばれたJPEG写真を保管します。アルバムを削除しても、各ロールにはオリジナル写真がそのまま残ります。

写真をアルバムに加えるには…

- > JPEG写真が記録されているディスク(CD, DVD±RW, DVD±R)をセットする。内容メニューが表示される
- > PHOTO ROLLSとINFOメニューが表示されるまで、▶を繰り返し押す
- > PHOTO ROLLSから、ロールを1本強調表示させ、GOを2回押す。そのロール内の写真が一覧表示される
- > ▲, ▼, ◀または▶を使い、アルバムに加えたい写真を強調表示させたあと、Beo4の黄ボタンを押してSELECTを選択する
- > すべての写真を強調表示させる場合は、緑ボタンを押してSELECT ALLを選択する
- > 強調表示されている写真を90度回転させたい場合は、青ボタンを押してROTATEを選択する
- > Beo4の赤ボタンを押して、TO ALBUMを選択する。Add to Photo Albumsメニューが表示される
- > 新しいアルバムを作成するか、既存のアルバムのどれかを強調表示させたあと、GOを2回押して選んだ写真を加える。選んだ写真が、すべてそのアルバムにコピーされる



内容メニュー。

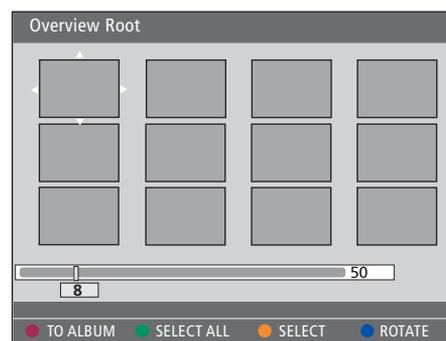
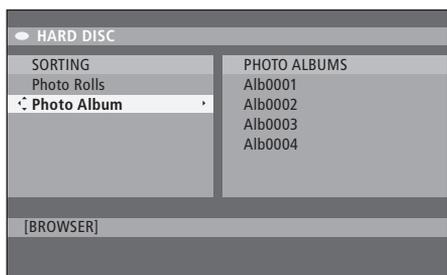


Photo Roll Folderの中に入ると、写真の編集が行なえます。



アルバムを編集するには…

アルバムの中で、各写真の位置を整理することにより、スライドショーで上映する写真の順番を決められます。また、アルバムから写真を外すこともできます。アルバムを編集しても、PHOTO ROLLS内の写真の順番などはそのまま残されます。

> JPEG 写真が記録されているディスク (CD, DVD±RW, DVD±R) をセットする。内容メニューが表示される

> 右向き矢印を押して SORTING メニューを強調表示させたあと、下向き矢印を押し PHOTO ALBUMS を強調表示させる

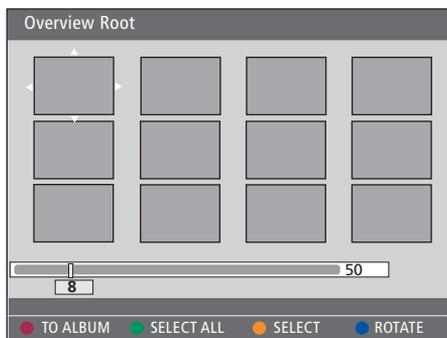
> もう1回右向き矢印を押して PHOTO ALBUMS メニューに入ったあと、上向き矢印または下向き矢印を使いアルバムを1つ選ぶ

> GO を2回押すと、アルバム内の写真が一覧表示される

> 上向き矢印、下向き矢印、左向き矢印または右向き矢印を使い、アルバムの中で移動させたい写真を強調表示させたあと、Beo4の黄ボタンを押し SELECT を選択する

> Beo4の緑ボタンを押し、MOVE を選択する。メニューには、その写真の位置を選択可能にする移動用ツールが表示される

> 上向き矢印、下向き矢印、左向き矢印または右向き矢印を使い、メニュー内で移動用ツールを動かす。選んだ写真を移動させたい位置が決まったら、GO を2回押して確定する



アルバムの名と日付を変えるには…

> そのアルバムを強調表示させたあと、GO を押してから3と押し、編集モードに入る。それぞれの入力フィールドに必要な変更を加えたら、GO を2回押す。GO を押してから3と押し、編集モードを終了する

アルバムを削除するには…

> 削除したいアルバムを強調表示させたあと、Beo4の赤ボタンを押し DELETE を選択する

写真を回転させるには…

> メニュー中の写真を強調表示させ、青ボタンを押し ROTATE を選択する

アルバムから写真を外すには…

> 外したい写真をメニュー中で強調表示させたあと、Beo4の赤ボタンを押し DELETE を選択する

映像へのアクセスを制限する(チャイルドロック)

チャイルドロック機能をオンにすることで、DVD ディスクやDVD 2に録画した映像の再生を、制限することができます。この機能を使うためには、まずチャイルドロック暗証コードを設定します。

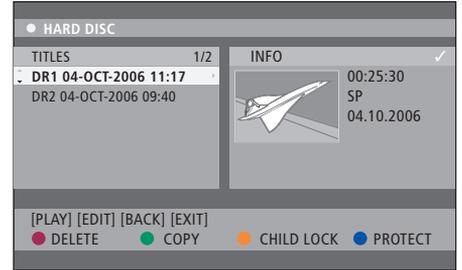
CHILD LOCK CODE メニューで暗証コードを設定することにより、録画した映像へのアクセスが制限されます。コードの設定は1回で終わりますが、チャイルドロック機能のオン/オフは、1つ1つの映像について設定する必要があります。

チャイルドロックをオンにする

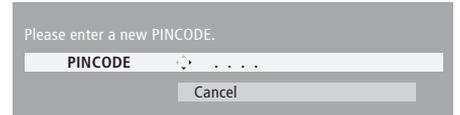
チャイルドロック暗証コードを設定したあとは、どの映像にロックをかけるか選ぶことができます。

DVD 2のスイッチが入っている時に...

- > GOを押してから0押し、HARD DISCメニューを呼び出す
- > ▼を押して、呼び出したい映像名を強調表示させたあと、TITLESとINFOが表示されるまで▶を繰り返し押し
- > ▼を押してその映像を選んだあと、Beo4の黄ボタンを押しチャイルドロックをオン/オフする。オンにされたディスクやハードディスク上の映像を再生する時は、4ケタの暗証コードを入力する必要があります



HARD DISC CONTENTメニューで、ロックするDVD ディスクや映像を選ぶことができます。



チャイルドロック機能を設定し、オンにすることで、ディスクや映像へのアクセスが制限できます。

注意！ チャイルドロック暗証コードを設定し、システムメニュー内でチャイルドロック機能をオンしておかないと、この機能はDVD 2の内容メニュー項目として表示されません。

チャイルドロック暗証コードを設定する

チャイルドロック機能を使う前に、まずチャイルドロック暗証コードを設定します。

DVD 2のスイッチが入っている時に...

> GOを押してから1を押し、システムメニューを呼び出す

> ▼を押して PREFERENCES を強調表示させたあと、▶を繰り返し押しして ACCESS SETTINGS を強調表示させ、▼を押す

> 0-9を使い、4ケタの暗証コードを入力する

> EXIT を押し、システムメニューを終了させる

4ケタの暗証コードを設定したあとは、ACCESS SETTINGSメニューから、チャイルドロック機能のONまたはOFFが選べます。

暗証コードを変更するには...

> 0-9を使い、新しい4ケタの暗証コードを入力する。確認を要求されるので、同じコードをもう1回入力する

> 変更をキャンセルする時は、▼を押してメニュー内のCANCELを強調表示させたあと、GOを2回押す

もし暗証コードを忘れてしまったら...

> 忘れてしまった暗証コードの代わりに、1504と入力する

> 新しい4ケタの暗証コードを入力する。確認を要求されるので、同じコードをもう1回入力する

各機能設定

DVD 2のシステムメニューで、DVD ディスクの再生に関する各機能設定が行なえます。DVD 2で日常的に使う、各機能の微調整やオン/オフが設定できます。

システムメニューでは、以下の各項目が各機能設定として選択できます:

- 録画モード
- 録画言語
- 映像の保護
- 映像内のチャプター
- サウンド設定モード
- DVD ディスクメニュー変更
- DVD ディスクの映像消去
- 映像へのアクセスを制限する(チャイルドロック)
- 自動再開

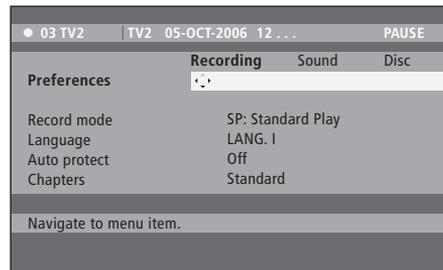
各機能設定を微調整する

ハードディスクやDVDディスクの映像に関する、各機能設定を微調整できます。調整や変更は、システムメニューから行います。

DVD 2のスイッチが入っている時に...

- > GOを押してから1を押し、システムメニューを呼び出す
- > ▼を押してPREFERENCESを強調表示させたあと、▶を繰り返し押しして各機能設定の項目を選び、▼を押す
- > その中からさらに、調整または変更したい項目を選び、▶を押す。その項目の変更が終わったら、◀を押せば1つ前に強調表示されていた項目に戻る
- > EXITを押し、システムメニューを終了させる

メニュー内でグレーに塗りつぶされている項目がある場合は、その機能は使用できない、または現在の状態のまま変更できないことを意味しています。



各機能設定メニュー

注意! DVD 2のLANGUAGEメニューから、字幕で使う言語を設定しておいても、一部のDVDディスクは、そのディスクのメニューで言語を指定するよう求めています。

一部のBang & Olufsen テレビは、RECORDを1回押すだけで録画を開始します。このようなテレビに、録音ロック機能は搭載されていないので、テレビのチャンネルを変えたりスイッチを切り替えたりすると、録画中の映像が影響を受けます。

録画モード設定メニュー内の各項目は…

RECORD MODE …録画される映像の画質を確定し、ハードディスクへの最長録画時間を設定します*。

選択できる画質は、STANDARD PLAY, STANDARD PLAY PLUS, LONG PLAY, EXTENDED PLAY, SUPER LONG PLAY および SUPER EXTENDED PLAY です。録画時間は、選んだ画質によって、約 42 時間から 336 時間のあいだに設定されます。

LANGUAGE …音声多重信号を並送しているテレビ番組の録画で、使用する言語を選びます。

LANG1 で放送されている主言語が、LANG2 で並送されている言語が選べます。

AUTO PROTECT …この機能をオンにしておく、録画したすべての映像が自動的に保護されます。

ON または OFF が選べます。

CHAPTERS …録画される映像に、一定の間隔でチャプターを自動的に挿入していきます。選べる項目は OFF, STANDARD そして SMART です。ただし SMART は、DV カムコーダーによる録画でしか使えません。工場出荷時は OFF に設定されています。

*ハードディスクから録画可能な DVD ディスクにコピーする場合、ハードディスク上で選ばれた映像の録画モード設定も、自動的にコピーされていきます。別の録画モードを選ぶことはできません。工場出荷時の設定は、STANDARD PLAY です。

サウンド設定モードメニューの各項目は…

SOUND MODE …この設定が必要になるのは、DVD 2 が、AUDIO OUT L/R 端子で外部のオーディオビジュアル機器と接続されている場合だけです。STEREO または SURROUND が選べます。

NIGHT MODE …低い音量で再生したとき、サウンドを聞き取りやすくします。大音量での再生時は音質を柔らかくし、小さな音量の時は、サウンドを聞き取り可能なレベルまで前面に出します。

ON または OFF が選べます。

NIGHT MODE が使用できるのは、Dolby Digital モードを備えた DVD ビデオだけです。

ディスク設定メニューの各項目は…

ADAPT MENU …コンピュータドライバ、または他のレコーダーで録画された DVD±RW では、映像インデックス画面が正しく表示されない場合があります。この項目は、使用するディスクのフォーマットを、Bang & Olufsen タイプに変更します。

DELETE ALL …セットされている録画可能 DVD ディスクから、すべての映像を消去します。

アクセス設定メニュー内の各項目は…

CHILDLOCK …ディスクやハードディスクに保存された映像が、第三者、またはお子さまに見られることを防ぎます。この機能がオンになっていると、内容メニュー内で映像名を強調表示させたとき、色分けされたオプション画面の下端に CHILDLOCK と表示されます。ON または OFF が選べます。

CHANGE PIN …チャイルドロック暗証コードを変更します。暗証コードの変更を取り消すこともできます。

機能設定メニュー内の項目は…

AUTO RESUME …この機能をオンにすると、ディスクの再生が、前回停止した位置から自動的に始まります。直近の過去に再生した 20 枚までの DVD ディスクとビデオ CD に適用されます。ON または OFF が選べます。

この章では、DVD 2を正しく設置する方法と、テレビへ接続する方法について説明します。また、DVD 2の設定を変更する方法や、接続パネルの詳細についても説明します。

設置のガイドライン, 46

- 設置のガイドライン, 46

DVD 2の接続, 47

接続パネル, 48

DVD 2の初期設定, 50

- 初期設定, 50
- GUIDE Plus+システムの設定, 52

システム設定, 54

- システム設定を微調整する, 54

設置のガイドライン

初めてDVD2を設置して接続する際は、以下に示すガイドラインと手順に、必ず従ってください。

DVD 2は、平らで安定した堅い面に置いてください。DVD 2の上には、物を置かないでください。

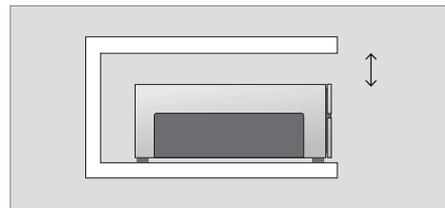
暖房器具の近くや、直射日光のあたる場所には置かないでください。

危険を避けるため、Bang & Olufsen 製の専用スタンド、および専用ブラケット以外の製品は、絶対に使わないでください。

DVD 2を、カーペットなどの上には置かないでください。カーペット類は、製品の底面にある通風口をふさいでしまいます。

DVD 2は、一般家庭の室内で使うよう設計されています。摂氏10度から35度の室温が保てる環境でお使いください。

DVD 2は、電源コンセントから切り離されない限り、完全にオフになることはありません。従って、抜き差ししやすい位置にあるコンセントを選んで、電源ケーブルを接続してください。



DVD 2が適切に通気できるよう、本体の両側には最低 5cm、上部には最低10cmの空間を確保してください。

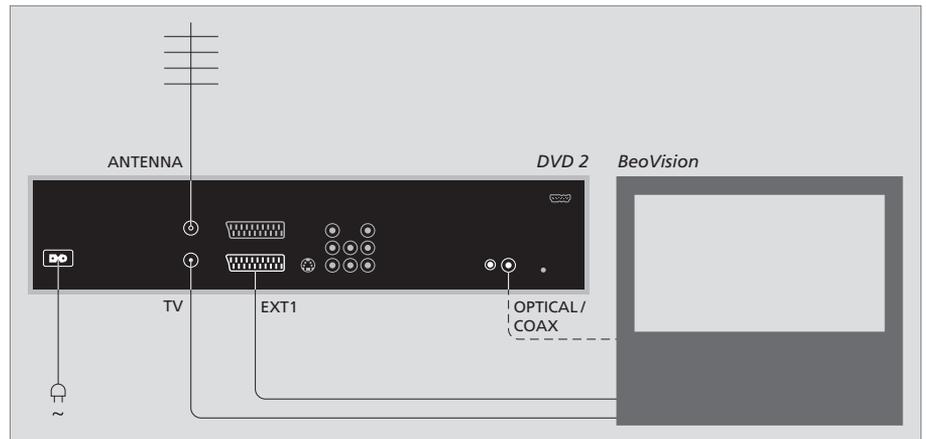
寒い場所から暖かい場所へ急に移動させると、DVD 2の内部に結露が発生することがあり、再生の際に悪影響が現われます。そのような場合は、DVD 2を暖かい場所に1-2時間放置し、水分を完全に蒸発させてからご使用ください。

DVD 2は、21ピンのAVケーブルを使用し、Bang & Olufsen 製のテレビと接続するように設計されています。これから説明する手順をよく読んで、DVD 2をテレビに接続していきましょう。

DVD 2の接続パネルについては、48ページと49ページをご覧ください。

テレビ側の接続端子については、テレビに付属のユーザーガイドをご覧ください。

DVD 2を含め、テレビシステムに含まれる全機器は、登録しておく必要があります。登録は、テレビのSETUPメニューから行ないます。外部機器の接続と登録について、詳しくは、お使いのBang & Olufsen 製テレビに付属のユーザーガイドをご覧ください。



- DVD 2の、EXT 1と書かれた端子に21ピンAVケーブルケーブルを差し込み、テレビと接続します。
- お使いのテレビがDolby Digitalモジュールを内蔵している場合は、DVD 2のOPTICAL端子またはCOAX端子を、テレビのデジタル入力端子と接続します。この接続に必要なケーブルが同梱されていない場合は、Bang & Olufsen 販売店で入手できます。
- 外部アンテナからのケーブルを、DVD 2のANTENNAと書かれた端子に接続します。アンテナ信号は、DVD 2に付属しているケーブルを使い、テレビ側にも供給する必要があります。DVD 2のTVと書かれているアンテナ端子にケーブルの一方を接続し、もう一方を、テレビ側のTVと書かれているアンテナ端子に接続してください。
- 最後に、付属の電源ケーブルを使ってDVD 2を電源に接続します。DVD 2はスタンバイ状態となり、本体ディスプレイの中に赤いライトが点灯します。

テレビシステムに登録されたDVD 2の名称が:
DVDまたは [DVD2] で登録されている場合…映像源の名前ボタンを押すだけで、DVD 2はディスクの再生を開始します。
VMEM, [V.AUX] または [DVD2] で登録されている場合…DVD 2がスタンバイ状態の時に、映像源の名前ボタンを押すと、HARD DISC CONTENTメニューが表示されます。
[V.AUX2] で登録されている場合…DVD 2は、内蔵チューナーモードでオンになります。

注意！ 接続を少しでも変更する際は、すべての機器を電源から切り離してください。

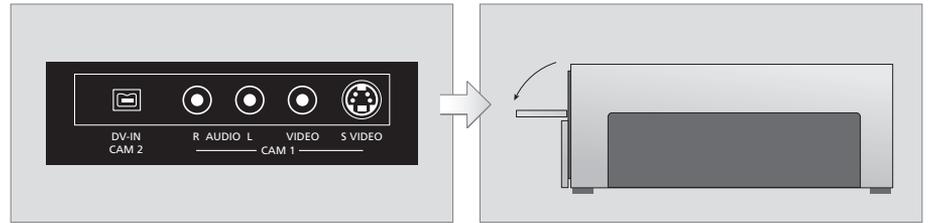
接続パネル

本体後部にある接続パネルを使って、DVD 2とテレビを接続していきます。

正面と後部にある接続パネルを使って、DVD 2に外部機器を接続することもできます。

外部機器との接続についての詳細は、その機器に付属しているユーザーガイドをご覧ください。

正面の接続パネル



CAM 2 (DV-IN)

DV(デジタルビデオ)カムコーダーの接続用です。ここに接続した機器を使う場合は、Beo4のGOを押してから5を押し、CAM2を選びます。CAM2が表示されなかった場合は、▲または▼を押すと呼び出せます。

CAM 1 (R AUDIO L - VIDEO)

カムコーダーなど外部機器の、音声および映像の接続用です。

CAM 1 (S-VIDEO)

外部映像器機の接続用です。

カムコーダー、DVカムコーダー、またはその他の外部機器から録画するには…

カムコーダーやDVカムコーダーなど、外部機器からハードディスクに録画することができます。

> その機器をDVD 2に接続する

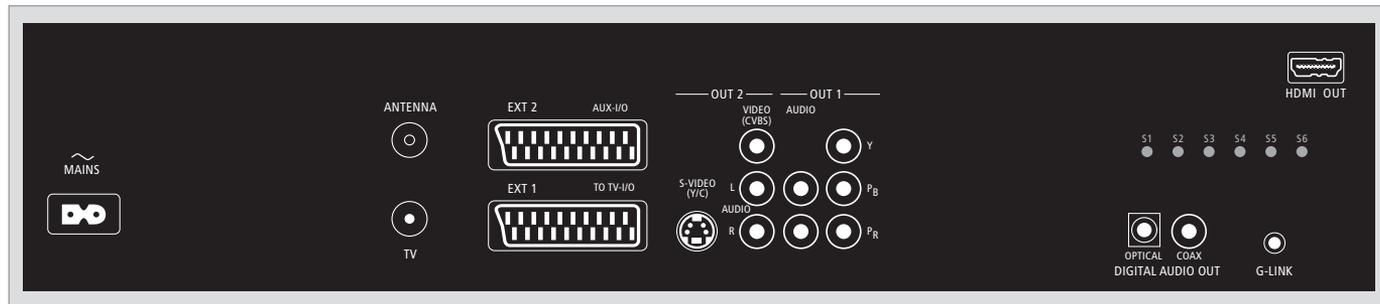
> GOを押してから5を押し、画面の指示に従う

> 接続した機器で再生を開始したあと、Beo4のRECORDを2回押す

DVD 2に録画したい映像を、カムコーダーまたはDVカムコーダーでマークしなかった場合、その映像は消去されます。

注意! 一部のBang & Olufsenテレビは、RECORDを1回押すだけで録画を開始します。このようなテレビに、録音ロック機能は搭載されていないので、テレビのチャンネルを変えたりスイッチを切り替えたりすると、録画中の映像が影響を受けます。

後部の接続パネル



~ (電源)
電源ケーブルを接続します。

ANTENNA
アンテナ入力信号用です。

TV
アンテナ出力信号を、テレビへ送るための端子です。

EXT1 / TO TV-I/O
テレビを接続するための、21ピン端子です。

EXT2 / AUX-I/O
プレイステーションなど、Bang & Olufsen 製ではない外部機器を接続するための、21ピン端子です。ここに接続した機器は、Beo4では操作できないので、その機器本体で操作してください。

OUT 2
外部映像機器の接続用です。S-Video (Y/R), Video (CVBS)、そしてオーディオ L/R の各端子があります。

OUT 1
外部映像機器の接続用です (オーディオ L/R, Y, P_B と P_R 端子があります)。

DIGITAL AUDIO OUT – OPTICAL / COAX
接続した機器に、オーディオケーブルを接続するための端子です。光ケーブル接続を行なうには、適切な Digital Audio Output を設定する必要があります。設定が適切でないと、音が出なかったり干渉が発生したりします。詳しくは、55 ページの「オーディオ出力設定の項目には」をご覧ください。

HDMI OUT
HDMI に対応した、Bang & Olufsen システムの接続用です。

G-LINK
Bang & Olufsen の設定では使用しません。

DVD 2の初期設定

DVD 2が初めて電源に接続され、起動すると、これから説明する初期設定がただちに実行可能となります。初期設定をするための画面メニューが、次々と表示されるので、それらに従って作業を進めます。初期設定がすべて完了したら、次はGUIDE Plus+システムの設定を行ないます。

テレビや衛星チューナー/ケーブルボックス(もしあれば)が、きちんとDVD 2に接続され、オンになっていることを確認してください。これは、受信可能なチャンネルをすべて検知し、保存していくチャンネルサーチ機能を設定するためです。

初期設定

DVD 2のスイッチを初めて入れた時は、初期設定メニューが表示されます。メニューの各項目を選んでいくことで、テレビチャンネルの登録、言語の選択、GUIDE Plus+システムといったDVD 2の各機能の設定が、いっそう簡単になります。

- > Beo4リモコンのDVDを押し、DVD 2のスイッチを入れる
- > LANGUAGE AND COUNTRY(言語と国)メニューがテレビ画面上に表示される

もしDVD 2が、DVDとしてではなくVMEM*またはV.AUX2として登録されていた場合は、Beo4側でもVMEMまたはV.AUX2ボタンを押す必要があります。



重要!

初期設定がすべて完了するまで、ディスクをセットして再生したり、録画をすることはできません。基本的な設定を終えないと、ディスプレイは開きません。

基本的な設定を終えた直後は、GUID Plus+システムにテレビ番組リストは表示されません。番組リストの受信には、約24時間かかります。

*注意! 一部のBeo4リモコンでは、VMEMボタンはVTAPEと表記されています。

表示される順に、初期設定メニューの内容を説明すると:

LANGUAGE AND COUNTRY … ▲または ▼ を使って使用する言語を強調表示させ、◀を押して保存します。

次に、お住まいになっている国を選びます。▶を押して COUNTRY を強調表示させたあと、▲または ▼ を使ってめざす国名を強調表示させ、◀を押して保存します。お住まいの国名がリストにない時は、OTHERS を選んでください。

DONE を強調表示させ、Beo4 の GO を 2 回押しします。

TV FORMAT …接続したテレビの画面に応じて、適切な画面比率を選びます。

▶を押して TV SHAPE を強調表示させ、▲または ▼ を使って、16:9、4:3 LETTERBOX、または 4:3 PANSCAN の 3 種から、適切な画面比率を選びます。

◀を押して保存します。

DONE を強調表示させ、Beo4 の GO を 2 回押しします。

CHANNEL SEARCH …メニューの中の CHANNEL SEARCH を強調表示させ、Beo4 の GO を 2 回押しすると、チャンネルサーチが始まります。完了するまで、数分かかります。チャンネルが 1 つも受信できなかった場合は、ほかの設定をすべて終わらせたあと、50 ページの「初期設定」にあるテレビチャンネル自動設定を実行してください。

チャンネルサーチが終わると、受信できたチャンネルにすべて番号が振られ、表示されると同時に保存されます。GO を 2 回押し、次に進みます。

TIME AND DATE …表示されている時刻と日付が正しければ、メニューの中の DONE を強調表示させたあと、GO を 2 回押しします。もし間違っていたら、0-9 を使って、各フィールドに正しい日付と時刻を入力します。基本的な初期設定は、これで終了です。

GUIDE Plus+ system …メニューの中の

CONTINUE を強調表示させ、GO を 2 回押しすと、GUIDE Plus+ の設定メニューに入ります。

ここでは、DO NOT INSTALL NOW を強調表示させ、GUIDE Plus+ のインストールを省略します。

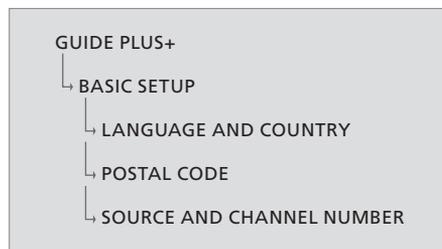
後日 GUIDE Plus+ をインストールする場合は、まず Beo4 の GO を数秒間押し続けます。DVD 2 がシステムの初期化を終えるのを待ってから、GO を 2 回押ししてメニューを終了します。GUIDE Plus+ のインストールについての詳細は、52 ページの「GUIDE Plus+ システムの設定」をご覧ください。

GUIDE Plus+システムの設定

DVD 2には、GUIDE Plus+システムが搭載されています。このシステムは、お住まいの地域で受信可能な全テレビ番組に関し、無料の番組ガイドを提供してくれます。この機能を使用するには、まずGUIDE Plus+番組リストデータを受け取る必要があります*、そのためには、使用する地域と現在の製品構成を設定しなければいけません。

- > Beo4のGOを押し続けると、GUIDE Plus+基本設定メニューが表示される。▲を押しした後、▶を繰り返し押し、SETUPメニューバーを強調表示させる
- > ▼を押してメニュー内のBASIC SETUPを強調表示させたあと、GOを2回押しして設定画面に入る

この設定を終えたあとは、DVD 2をスタンバイ状態にし、外部チューナー類のスイッチを入れたまま、一晚放置してください。その間に、番組リストデータがダウンロードされます。



*注意! もしも、GUIDE Plus+システムの設定中に何らかの問題が発生した場合は、www.europe.guideplus.comにアクセスして解決策を探してください。国によっては、番組リストデータが受信できないこともあります。

表示される順に、GUIDE Plus+ 設定メニューの内容を説明すると:

LANGUAGE AND COUNTRY …DVD 2の初期設定時に、設定した内容が表示されます。詳しくは51ページをご覧ください。お住まいになっている国で、番組リストデータが受信できない場合でも、Gコード録画および手動録画で、GUIDE Plus+システムの機能が使用できます。

POSTAL CODE …郵便番号を入力します。

郵便番号を入力するには…

> GOを2回押して、入力メニューに入る

> ▲または▼を使って郵便番号を入力する。

◀または▶を押すと、前後の入力フィールドに移動する。もし入力した郵便番号が、システムに認識された国名と合致しない場合は、番組データがまったく受信できなかったり、誤ったデータを受信してしまう

SOURCE AND CHANNEL NUMBER …工場出荷時の設定、AUTOMATICを推奨します。もしGUIDE Plus+のホストチャンネルに設定したい場合は、メニューからHOST CHANNEL SETUPを選び、テレビ画面に表示される指示に従って設定を完了させる。完了したら、GOを押し続けてこのメニューを終了させる

テレビ番組データをダウンロードさせるため、DVD 2をスタンバイ上にしたまま、一晩放置してください。もし外部チューナー類を使っている場合は、そのチューナーに、手動でホストチャンネルを受信させます。外部チューナーも、オンにしたまま一晩放置してください。

スタンバイ状態に戻す前に、DVD 2でホストチャンネルを受信していると、DVD 2はただちに番組データのダウンロードを開始します。本体ディスプレイには、EPG DOWNLOADと表示されます。この作業には、約2時間を要します。DVD 2をオンにすれば、ダウンロードは中止されますし、上述の通り、オンにしたまま一晩放置しておくこともできます。もしも番組リストデータが入手できないと、DVD 2はスタンバイ状態に戻り、データのダウンロードは中止されます。

データのダウンロードが完了したことは、翌日、EDITOR画面で番組リストを見ることにより確認できます。GUIDE Plus+メニューに入り、▲を押してメニューバーに入ったあと、▶を繰り返し押してEDITORを強調表示させてください。▼を押すと、EDITORメニューに入れます。

システム設定

DVD SYSTEM メニューで、DVD 2 のシステムを最も使いやすいよう設定することができますし、日常的に使う各機能を調整したりオン/オフすることができます。

システムメニューでは、次の各項目が設定できます:

- 省エネモード
- ディスプレイ設定
- 前方または後方に飛ばす際の設定
- 時刻と日付の設定
- アナログチャンネルの設定
- 画像の設定
- 音声出力の設定

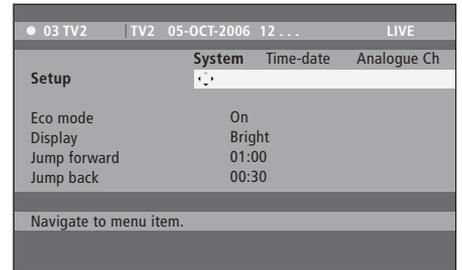
システム設定を微調整する

DVD 2 の設定は、システムメニューを使うことでお好きなように微調整できます。ただし、録画の進行中に SETUP メニューを呼び出すと、録画作業は中止されリプレイバッファが消去されます。

DVD 2 のスイッチが入っている時に...

- > GO を押してから 1 を押し、システムメニューを呼び出す
- > ▼ を繰り返し押し、SETUP を強調表示させたあと、▶ を押す。もしも録画が進行中であれば、「このまま続けると録画作業を中止し、リプレイバッファを消去します」という警告メッセージが表示される
- > GO を 2 回押すと続行される。作業を中止するには、NO を強調表示させたあと GO を 2 回押す。再生の一時停止状態になる
- > ▶ を繰り返し押しと、設定する項目が表示され、▼ を押すと設定作業が開始可能となる
- > 画面上の指示に従って、設定を行なう
- > EXIT を押すと、システムメニューが終了する

メニュー内でグレーに塗りつぶされている項目がある場合は、その機能は使用できない、または現在の状態のまま変更できないことを意味しています。



システム設定メニュー

システム設定メニューの各項目は…

ECO MODE …省エネ設定です。DVD 2 をスタンバイ状態にすると、ディスプレイが完全に消灯されて電力を節約します。ただしスタンバイ時も、ディスプレイ上にはクロックが表示されています。ON または OFF が選べます。

DISPLAY …本体ディスプレイの明るさが選べます。BRIGHT, DIMMED、そして OFF の 3 種類があります。

JUMP FORWARD …後方に飛ばしていく時の、時間単位を設定します。最大は 60 分ですが、出荷時の設定は 5 分です。

JUMP BACK …前方に飛ばしていく時の、時間単位を設定します。最大は 60 分ですが、出荷時の設定は 5 分です。

時刻/日付設定メニューの各項目は…

CLOCK PRESET …DVD 2 に保存されたテレビチャンネルが、時刻信号を発信している場合、時刻/日付は自動的に正しく設定されます。AUTO を選ぶと、日付と時刻の情報を発信しているチャンネルが自動的にサーチされます。チャンネル番号を押しても、このようなチャンネルを選択することができます。手動で入力する場合は、必ずこの機能を OFF にしておいてください。

TIME …誤った時刻が表示されていたら、手動で正しい時刻を入力します。

DATE …誤った日付が表示されていたら、手動で正しい日付を入力します。

アナログチャンネル設定メニューの各項目は…

AUTO SEARCH …自動チャンネルサーチを開始させ、受信したチャンネルを、それまでに保存されていた全アナログチャンネルと入れ替えます。
 SORT …保存した各チャンネルの、表示される順番を変更します。
 FAVOURITES …簡単に選局できるよう、お気に入りのチャンネルをマークします。マークされていないチャンネルは、DVD 2のチューナーモードでチャンネルを送っていくとき、飛ばされます。

アナログチャンネル設定/手動サーチメニューの各項目は…

ENTRY MODE …チャンネルの番号や周波数による、手動サーチを行ないます。
 ENTRY …0-9を使い、周波数/チャンネル番号を入力します。
 GOを2回押してから緑ボタンを押すとSTORE(保存)され、青ボタンを押すとSEARCH(サーチ)します。
 PRESET …0-9を使い、そのチャンネルにプリセット番号をつけ保存します(たとえば'01')。
 PRESET NAME …0-9を使い、そのチャンネルにプリセット名をつけます。すべてのチャンネルに、最大4文字までの名前がつけられます。
 DECODER …受信中のチャンネルが、EXT2端子に接続したデコーダーを使わない限り、正しく受信できない信号を発信している場合は、その接続したデコーダーをオンにします。ONまたはOFFが選べます。
 TV-SYSTEM …映像と音声の歪みが、最も少ないテレビシステムを設定します。
 NICAM …NICAMとは、デジタル音声多重放送システムの1種です。ステレオチャンネル1本、または2本に別れたモノチャンネルを放送します。ONまたはOFFが選べます。
 FINE TUNING …受信状態の悪いチャンネルがあった場合、受信の微調整を行ないます。

画像設定メニューの各項目は…

TV SHAPE …画面の横と縦の比率を、適切に調整します。4:3 Letterboxは、画面の上下に黒いバーが入るワイドスクリーン、4:3 PanScanは、上下をスクリーン一杯に広げ左右が切り落とされています。16:9は、ハイビジョンに対応した画面です。
 BLACK LEVEL …NTSCディスクの、黒の強さを変更します。NORMALとENHANCED(強調)が選べます。
 HORIZONTAL …◀と▶を使うことによって、スクリーン内の画面の位置を、水平方向に微調整します。
 VIDEO OUTPUT …DVD 2とテレビに接続する、映像のタイプに応じた映像出力のタイプを選びます。Sビデオ接続のためのS-VIDEOと、受け取った映像信号のタイプに応じ、映像出力のタイプも切り替えるAUTOMATICが選べます。

PROGRESSIVE …プログレッシブスキャン機能です。この機能を使うには、接続したテレビが、プログレッシブ信号を受信できるタイプ(プログレッシブスキャン対応テレビ)であり、YPbPrを使ってDVD 2に接続されている必要があります。オンまたはオフが選べます。もしHDMI出力がオンになっていると、プログレッシブ映像出力は無効化されます。

HDMI …HDMI接続でのみ使用できる機能です。AUTOに設定すると、HDMI出力がオンになります。映像出力の解像度は、受け取った映像信号に自動的に合致します。ONも、HDMI出力をオンにしますが、映像出力の解像度は、VIDEO UPSCALINGの設定に準じます。

VIDEO-UPSCALING …接続されたテレビや映像源の性能に合わせ、映像の解像度を設定します(480p, 576p, 720p, 1080i)。「i」はインターレース方式を、「p」はプログレッシブ方式を意味します。この項目は、HDMIがAUTOに設定されていると使用できません。解像度の設定を変えると、通常テレビ画面は、新しい設定に切り替わるまで数秒間ブランクとなります。HDMI接続でのみ使用可能な項目です。

HDMI OUTPUT …映像出力のカラーフォーマットを決めます。RGBを選ぶと黒が強調されて色の明るさが増し、YPbPrを選ぶと極めて微妙な色調が再現されます。HDMI対応器機では、後者が一般的です。HDMI接続でのみ使用可能な項目です。

音声出力設定メニューの各項目は…

DIGITAL OUTPUT …DVD 2と他のオーディオビジュアル機器との接続に、COAXIAL/OPTICAL OUT端子を使っている場合にのみ、設定が必要になる項目です。接続した機器が、マルチチャンネル音声フォーマット(Dolby Digital, MPEG-2)のどちらかに対応したマルチチャンネルデコーダーを搭載している場合は、ALLを選びます。接続した機器が、マルチチャンネルデコーダーを搭載していない場合は、PCMを選びます。PCMに設定すると、Dolby DigitalとMPEG-2のマルチチャンネル信号が、PCM(Pulse Code Modulation)に変換されます。DVD 2のAUDIO OUT端子を使いテレビやステレオシステムを接続している場合は、OFFを選び、デジタル音声出力をオフにしてください。

HDMI …DVD 2のHDMI OUT端子を使い、テレビなどのディスプレイ機器を接続している場合にのみ、設定が必要となる項目です。HDMI接続を経由したマルチチャンネル音声出力を楽しみたい場合は、AUTOを選びます。HDMI接続を通した音声出力ができない機器や、プロジェクターまたはSACDなど、HDMI接続に対応していない再生オーディオフォーマットをもつ機器を使う場合は、DISABLEを選びます。そのような機器とDVD 2は、必ず別種の音声出力端子で接続してください*。

*HDMI接続を使って、SACD、またはコピー防止対策が施されたDVDオーディオCPPM(Content Protection for Playable Media)を、聞くことはできません。

言語設定メニューの各項目は…

MENU …DVD 2の画面メニューで使う言語を選びます。この設定は、基本的な初期設定から引き継がれています。
 AUDIO …DVD再生のときの、音声言語を選びます。
 SUBTITLE …DVD再生のときの、字幕言語を選びます。

もしも、選んだ音声/字幕言語に対応していないDVDを再生すると、そのディスクに設定されている言語が代わりに使用されます。一部のDVDディスクでは、字幕/音声言語の変更はDVDディスクメニュー一経由でしか実行できません。

クリーニングなどの日常なお手入れは、お客様ご自身にお願いしております。右の説明に従って、実行してください。定期的な機能チェックなどにつきましては、Bang & Olufsen 販売店にご連絡ください。

保証期間中であれば、保証記載事項に基づき、無償修理を承ります。

DVD、ビデオ CD、オーディオ CD のクリーニングに、アルコールなどの溶剤や研磨性のクリーナーは絶対に使わないでください。

ハードディスクの取り扱い

内蔵しているハードディスクは、長時間の録画を繰り返すことができ、データへの高速アクセスが可能な高密度ディスクです。設置環境と取り扱い方によっては、再生や録画の失敗で保存された内容の一部が損傷する可能性もあります。ハードディスクの損傷、そして重要なデータの消失を防ぐため、次のような点に注意してください。

- DVD 2 を激しく動かしたり、揺さぶったりしないでください。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、DVD 2 を、必ずスタンバイ状態にしておいてください。

注意！

このハードディスクは、記録した内容を永久に保存するための装置ではありません。大切な映像は、録画可能な DVD ディスクにバックアップコピーを保存しておくよう、お勧めします。

Bang & Olufsen は、ハードディスクの損壊によるいかなるデータの消失についても、責任を負いません。

DVD 2 のクリーニング

DVD 2 の表面についたホコリなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。油污れやしつこい汚れなどは、台所用等のマイルドな洗剤を数滴だけ混ぜた水にケバのない布を浸し、その布をよく絞って拭き取ってください。DVD 2 の各部のクリーニングに、アルコールなどの溶剤は絶対に使わないでください。

DVD 2 の光学部品のクリーニングを試みたり、カバー類を外すことは、絶対にやめてください。このような作業は、専門のサービス員にお任せください。

ディスク類の取扱

DVD ディスクなどは、ていねいに扱ってください。常にディスクの縁を持ち、DVD プレーヤーから取り出したあと、必ず本来のケースに収納していれば、クリーニングの必要はありません。指紋やホコリなどで汚れた場合は、柔らかく清潔なケバのない布で拭き取ります。高温、高湿を避け、ディスクの表面には書き込みをしないでください。

索引

Beo4 リモコン

DVD 2のご紹介とBeo4の使い方, 6
Beo4の使い方, 6

カムコーダー

カムコーダー, 48
カムコーダーやDVカムコーダー、その他外部映像
源からの録画, 48

CD

ディスクの再生中に, 12
ディスクの再生, 12

チャイルドロック

チャイルドロックをオンにする, 40
映像へのアクセスを制限する(チャイルドロッ
ク), 40
チャイルドロック暗証コードを設定する, 41
アクセス設定メニューの各項目, 43

クロック

初期設定メニューの表示順序, 51
時刻/日付設定メニューの各項目, 55

接続

外部映像機器, 48-49
アンテナ接続, 47, 49
カムコーダー, 48
DVD 2の接続, 47
接続パネル, 48-49
電源の接続, 49
後部の接続パネル, 49
正面の接続パネル, 48
テレビ信号, 49, 55

連絡先

Bang & Olufsenの連絡先, 62

コピー

録画した映像のコピー, 30
リプレイバッファ, 24-25

デコーダー

アナログチャンネル設定/手動サーチメニューの各
項目, 55

ディスプレイとメニュー

GUIDE Plus+システム, 9
インジケータライト, 5
詳細メニュー, 8
初期設定メニューの表示順序, 51
GUIDE Plus+設定のメニュー表示順, 53
本体ディスプレイ, 5
DVD画面メニューを使う, 13
メニューの使い方, 7
アクセス設定メニューの各項目, 43
アナログチャンネル設定メニューの各項目, 55
アナログチャンネル設定/手動サーチメニューの各
項目, 55
音声出力設定メニューの各項目, 56
ディスク設定メニューの各項目, 43
機能設定メニューの項目, 43
言語設定メニューの各項目, 56
録画モード設定メニューの各項目, 43
サウンド設定モードメニューの各項目, 43
システム設定メニューの各項目, 55
時刻/日付設定メニューの各項目, 55
画像設定メニューの各項目, 55

DVD

各機能設定を微調整する, 42
二次的な再生機能, 36
吹き替えサウンドトラックへ変更する, 15
字幕言語を変更する, 15
DVDディスクの映像を消去する, 35
ディスクフォーマット, 13
ディスクの再生中に, 12
DVDプレーヤーとハードディスクレコーダー, 4
DVDディスクを編集する, 34
再生中の機能, 36
DVD 2のご紹介, 4
DVD 2のご紹介とBeo4の使い方, 6
詳細メニュー, 8
設置のガイドライン, 46
ディスクの再生, 12
各機能設定, 42
DVDディスクの映像を保護するには
(DVD±RW), 35
映像の一部(A-B)をリピート再生する, 36
リピート再生, 36
DVDディスクをスキャンする, 36
シャッフル再生, 36
DVD画面メニューを使う, 13
ツールバーを使う, 14
ディスク設定メニューの各項目, 43
機能設定メニューの項目, 43
言語設定メニューの各項目, 56

初期設定

初期設定, 50
GUIDE Plus+ システムの設定, 52
初期設定メニューの表示順序, 51
GUIDE Plus+ 設定のメニュー表示順, 53

フォーマット

ディスクフォーマット, 13
初期設定メニューの表示順序, 51

GUIDE Plus+ システム

GUIDE Plus+ システム, 9
GUIDE Plus+ システムの設定, 52
初期設定メニューの表示順序, 51
GUIDE Plus+ 設定のメニュー表示順, 53

ハードディスクレコーダー

保存容量の管理と保護, 24
チャプターを変える, 27
録画中にチャンネルを変える, 21
録画した映像のコピー, 30
スライドショーのプレイリストを作る, 38
タイマー設定を削除する, 19
録画した映像を消去する, 29
チャプターマーカーをすべて削除する, 34
1本の映像を分割する, 32
リプレイのあいだに, 23
DVDプレーヤーとハードディスクレコーダー, 4
録画した映像の編集, 28
タイマーで実行する頻度やタイミングを変更する, 19
タイマー設定の編集, 19
タイマーの編集, 19
DVD 2のご紹介, 4
不要なシーンを隠す, 33
詳細メニュー, 8
チャプターを統合する、または分割する, 33
録画した映像に名前をつける, 30
番組の一時停止, 22
番組の一時停止とリプレイ, 22
録画した映像の再生を一時停止する, 27
録画した映像の再生, 26
録画中の映像の再生, 27
録画した映像を保護する, 28
録画リストを整理する, 28
映像の録画, 16
他の映像源から録画する, 21
DVD 2のチューナーから録画している時に、別の映像を見る, 20
リプレイバッファから録画する, 25
今すぐに録画する, 20
テレビ番組の録画, 5
リプレイバッファ, 24-25

録画した映像のジャンルを選ぶ, 26
隠したシーンを元に戻す, 33
タイマー録画, 16
手動でタイマー録画を設定する, 16
番組ガイドのリスト表示でタイマー録画を設定する, 18
Gコードを使ってタイマー録画を設定する, 18
VPS/PDC 機能, 17
アクセス設定メニューの各項目, 43
録画モード設定メニューの各項目, 43
録画した映像の再生中に, 27

言語

吹き替えサウンドトラックへ変更する, 15
字幕言語を変更する, 15
初期設定メニューの表示順序, 51
GUIDE Plus+ 設定のメニュー表示順序, 53
録画モード設定メニューの各項目, 43

お手入れ

DVD 2のクリーニング, 57
ハードディスクの取り扱い, 57
ディスク類の取り扱い, 57
設置のガイドライン, 46

暗証コード

チャイルドロックをオンにする, 40
チャイルドロック暗証コードの変更, 41
もし暗証コードを忘れてしまったら, 41
チャイルドロック暗証コードを設定する, 41
アクセス設定メニューの各項目, 43

設置

設置のガイドライン, 46

設定

各機能設定を微調整する, 42
システム設定を微調整する, 54
初期設定, 50
GUIDE Plus+ システムの設定, 52
各機能設定, 42
初期設定メニューの表示順序, 51
GUIDE Plus+ 設定のメニュー表示順序, 53
DVD 2の初期設定, 50
システム設定, 54
アクセス設定メニューの各項目, 43
アナログチャンネル設定/手動サーチメニューの各項目, 55
アナログチャンネル設定メニューの各項目, 55
音声出力設定メニューの各項目, 56
ディスク設定メニューの各項目, 43
機能設定メニューの項目, 43

言語設定メニューの各項目, 56
録画モード設定メニューの各項目, 43
サウンド設定モードメニューの各項目, 43
システム設定メニューの各項目, 55
時刻/日付設定メニューの各項目, 55
画像設定メニューの各項目, 55

サウンド

サウンド設定モードメニューの各項目, 43

タイマー

タイマー設定を削除する, 19
タイマーで実行する頻度やタイミングを変更する, 19
タイマー設定の編集, 19
タイマーの編集, 19
タイマー録画, 16
手動でタイマー録画を設定する, 16
番組ガイドのリスト表示でタイマー録画を設定する, 18
Gコードを使ってタイマー録画を設定する, 18
時刻/日付設定メニューの各項目, 55

チューニング

初期設定メニューの表示順序, 51
GUIDE Plus+ 設定のメニュー表示順序, 53
アナログチャンネル設定/手動サーチメニューの各項目, 55
アナログチャンネル設定メニューの各項目, 55

TVチャンネル

初期設定メニューの表示順序, 51
GUIDE Plus+ 設定のメニュー表示順序, 53
アナログチャンネル設定メニューの各項目, 55

Manufactured under license from Dolby Laboratories. "Dolby" and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.
Confidential unpublished works.
Copyright 1992-1997. All rights reserved.

"DTS", "DTS-ES" and "Neo:6" are trademarks of Digital Theater Systems

**CLASS 1
LASER PRODUCT**

本コンパクトディスクプレーヤーにつけられたこのラベルは、本製品に、クラス1レーザー製品に分類されるレーザーシステムが、搭載されていることを警告しています。本コンパクトディスクプレーヤーの使用にあたって、何らかの問題が発生した場合は、Bang & Olufsen 販売店に連絡してください。専門のサービス員ではない人が、本製品のカバーを開けることは、堅く禁じます。

警告: この説明書に記載されていない方法で操作したり、調整や処置を施した場合、危険なエネルギー放射にさらされる可能性があります。本製品の光学装置は、人間の眼に危害を与えます。本CD/DVDプレーヤーに使用されているレーザービームは、人間の眼に有害ですので、キャビネットの分解は絶対に試みないでください。カバーを開くと、レーザーが外部に漏れます。絶対にビームを見つめないでください。このラベルは、製品の後部に貼ってあります。

CE 本製品は、EEU指令 89/336および73/23に規定されたすべての条件を満たしています。



DVD Video ロゴは、登録商標です。

本製品は、US特許 4,631,603; 4,577,216; 4,819,098; 4,907,093; 6,516,132、およびその他の知的所有権によって保護された特許技術を使用しています。この著作権保護された技術の使用は、Macrovisionからの許諾を必要とし、また、特に Macrovision が許諾しない限り、家庭内および限定した範囲内での使用を意図しています。本製品の分解や分析は禁じられています。



WEEE 指令と環境保護対策について

WEEE とは、「電気・電子機器の廃棄に関する欧州議会および理事会指令」の略です。この指令の目的は、電子機器および電子部品からの廃棄物を減らし、このような廃棄物の再利用とリサイクルを促進させることにあります。当然、メーカーだけでなく、販売業者や消費者もこの指令の対象となります。

WEEE 指令は、製造者と消費者の双方に対し、電気器具と電子機器、そして関連する部品を、環境に安全な方法で処理することを求めています。廃棄物は再利用され、その原料はエネルギー源として再処理されていきます。

電子機器および電子部品を、通常のご家庭ゴミと一緒に処理することは禁じられています。すべての電子機器および電子部品は、別途収集され、処理されなければいけません。

再利用、リサイクル、再生処理されるべき製品と部品には、左に示したマークが付けられています。

お客様の国で採用されている回収システムに従い、電気器具や電子機器を処分することは、環境と人類の健康を保護し、自然資源の有効活用にご貢献することを意味します。また、電気器具や電子機器を一般の廃棄物とは別に回収すると、電気器具や電子機器の中に残留しているかもしれない危険な物質で、環境が汚染されることも防げます。

本製品をご使用になる国での正しい処理方法については、お近くの Bang & Olufsen ストアにお問い合わせください。

小型の製品には、左のマークが付けられていないことがあります。そのような場合、このマークは取扱説明書と保証書で提示され、パッケージ上に印刷されます。

よりよい製品を作るため…

Bang & Olufsen は、お客様の声とニーズをていねいに検討しながら、より快適に使える製品を作るためデザインと設計を行なっています。

お買い求めになった Bang & Olufsen 製品について、率直なご意見をお聞かせください。どのようなご意見であっても、今後の製品作りに反映させていきたいと思えます。

ご協力をお願いします。

ご連絡は、次のウェブサイトからおねがいします：
www.bang-olufsen.com

郵便: Bang & Olufsen a/s
BeoCare
Peter Bangs Vej 15
DK-7600 Struer

ファックス: Bang & Olufsen
BeoCare
+45 97 85 39 11 (fax)

技術仕様や機能、および使用方法は、事前の予告なく変更される場合があります。

